

平成30年10月24日

平成30年度第7回定例松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

平成30年度第7回定例松本市教育委員会付議案件

[ 議案 ]

- 第1号 まつもと文化遺産認定制度実施要綱の制定について
- 第2号 松本市博物館協議会委員の委嘱について

[ 報告 ]

- 第1号 第7回学都松本フォーラムの開催結果について
- 第2号 コズミックカレッジ（JAXA 協力の科学教室）の実施結果について
- 第3号 子育て家庭実態調査の実施結果について

[ 周知事項 ]

- 1 教育文化センタープラネタリウムのリニューアル工事に伴う休館について
- 2 宇宙関連事業 講演会の開催について
- 3 松本市立博物館分館の企画展開催について
- 4 歴史の里ナイトミュージアムの開催について
- 5 第35回松本市青少年健全育成市民大会・「松本子どもの権利の日」市民フォーラムの開催について

[ その他 ]

## 議案第 1 号

## まつもと文化遺産認定制度実施要綱の制定について

## 1 趣旨

歴史文化を活かしたまちづくりを推進するため、松本市歴史文化基本構想に基づく「まつもと文化遺産」の認定等について定めた要綱を制定するものです。

## 2 経緯

## 30. 3 松本市歴史文化基本構想を策定

7.20 第1回まつもと文化遺産保存活用協議会にて認定基準の素案について協議

10.15 第2回協議会で要綱案について協議

## 3 「まつもと文化遺産」について

松本市歴史文化基本構想の策定にあたって、歴史的・地域的関連性に基づき一定のまとまりを持つものとして設定した関連文化財群のうち、保存活用に係る具体的な事業計画を有するものとして教育委員会が「まつもと文化遺産」として認定するものです。

また、必要に応じて支援を行う制度もあわせて検討しており、将来にわたって市民が主体となり継続的・一体的な文化財群の保存活用の推進を図ります。

## 4 要綱(案)

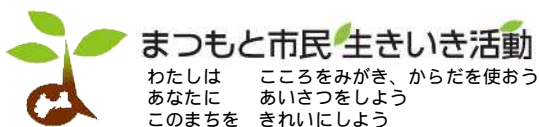
別添のとおり

## 5 その他

(1) 要綱告示後、認定申請を募集します。

(2) 認定申請のあった案件については、1月開催予定の第3回まつもと文化遺産保存活用協議会で協議後、認定する予定です。

担当	文化財課
課長	大竹 永明
電話	34 - 3292



松本市教育委員会告示第 号

まつもと文化遺産認定制度実施要綱を次のように定める。

平成30年 月 日

松本市教育委員会

## まつもと文化遺産認定制度実施要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、市民が自らの住む地域に誇りを持ち、歴史や文化を活かしたまちづくりを進めるため、地域で保存活用されている関連文化財群をまつもと文化遺産として認定することについて、必要な事項を定めることを目的とする。

### (定義)

第2条 この要綱において「関連文化財群」とは、歴史的・地域的関連性に基づき、一定のまとまりを持つものとして、松本市歴史文化基本構想に設定された複数の文化財をいう。

### (認定基準)

第3条 教育委員会は、前条に規定する関連文化財群のうち、保存活用団体により保存及び活用されているものを、まつもと文化遺産として認定するものとする。

2 前項の保存活用団体は、次に掲げる要件をすべて満たすものとする。

- (1) 関連文化財群の保存活用事業(以下「事業」という。)が、地域内に広がりを持ち、地域のまちづくりや活性化に寄与するものであると認められること
- (2) 関連文化財群の保存活用に係る具体的な事業計画(以下「計画」という。)を有すること
- (3) 担い手の育成や青少年への教育にも配慮するなど、関連文化財群の保存活用について継続性が期待できること
- (4) 関連文化財群を構成する物件のうち、事業に係る物件の所有者又は管理者から事業実施の同意が得られていること

### (認定申請)

第4条 まつもと文化遺産の認定を受けようとする関連文化財群の保存活用団体(以下「申請者」という。)は、まつもと文化遺産認定申請書(様式第1号)に次に掲げる書類を添付して教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が必要でないとする書類については、添付を省略することができる。

- (1) 計画の概要が分かる書類
- (2) 保存活用団体の概要が分かる書類
- (3) 事業に係る物件の所有者又は管理者の同意書(様式第2号)

(4) その他教育委員会が必要と認める書類

(認定)

第5条 教育委員会は、前条の規定による申請があった場合には、その内容を審査し、適当と認めるときは、当該関連文化財群をまつもと文化遺産として認定し、まつもと文化遺産認定書（様式第3号）により、申請者に通知するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定による認定を行うときは、まつもと文化遺産保存活用協議会設置要綱（平成30年教育委員会告示第9号）に規定するまつもと文化遺産保存活用協議会（以下「協議会」という。）に意見を聴き、承認を受けるものとする。

(認定の取消し)

第6条 教育委員会は、前条の規定により認定したまつもと文化遺産が第3条の認定基準を満たさなくなったときは、まつもと文化遺産認定取消通知書（様式第4号）により、認定を取り消すことができる。

2 教育委員会は、前項の規定により認定を取り消すときは、事前に協議会の意見を聴き、承認を受けるものとする。

(公表)

第7条 教育委員会は、第5条の規定により認定したまつもと文化遺産に関する情報を市のホームページ等への掲載により公表し、地域の魅力向上・活性化のため、まつもと文化遺産が広く周知されるよう努めるものとする。

附 則

この告示は、平成30年 月 日から施行する。

年 月 日

（あて先）松本市教育委員会

申請者 団体名  
所在地  
代表者氏名 印

まつもと文化遺産認定申請書

まつもと文化遺産認定制度実施要綱第4条の規定により、まつもと文化遺産の認定を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

- 1 関連文化財群の名称
- 2 保存活用団体の名称
- 3 保存活用事業の概要
- 4 保存活用事業に係る物件の所有者又は管理者の同意
- 5 その他参考となるべき事項

## 所有（管理）物件の活用に関する同意書

年 月 日

（あて先）

住 所

氏 名

印

下記の物件を活用した貴団体の活動に同意します。

記

- 1 物件名
- 2 物件の所在地
- 3 物件の所有者
- 4 その他事項

年 月 日

様

松本市教育委員会

まつもと文化遺産認定書

まつもと文化遺産認定制度実施要綱第5条の規定により、下記の関連文化財群をまつもと文化遺産に認定します。

記

1 名称

2 保存活用団体

(1) 団体名

(2) 所在地

(3) 代表者

3 その他

(注意) 認定が解除になったときは、この認定書を返付してください。



年 月 日

様

松本市教育委員会

まつもと文化遺産認定取消通知書

まつもと文化遺産認定制度実施要綱第6条の規定により、下記のとおり認定  
を取消したので、通知します。

記

- 1 認定取消の理由
- 2 認定を取消した年月日

## 議案第 2 号

## 松本市博物館協議会委員の委嘱について

## 1 趣旨

松本市博物館協議会委員の任期が満了となるため、松本市立博物館条例第11号の規定に基づき、新たに委員を委嘱することについて協議するものです。

## 2 選考方法

- (1) 文化財の保存活用の推進を図るため、新たに文化財審議委員会から選考
- (2) 学芸員養成課程を有する大学の教授を選考
- (3) 今年度発足した「市民学芸員の会」の代表者を選考
- (4) 公募委員として2名を選考（9月7日から25日まで募集）

## 3 委嘱予定者

裏面 委員名簿のとおり

## 4 任期

平成30年11月1日から平成32年10月31日まで（2年間）

## 5 根拠条例

松本市立博物館条例（抜粋）

第11条 法第22条の規定に基づき、市立博物館に松本市博物館協議会（以下「協議議会」という。）を置く。

2 協議会委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とする。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 有識者
- (5) 公募による市民
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

4 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

担当	博物館
館長	木下 守
電話	32-0133



学都松本へ  
松本は屋根のない博物館！松本の歩みと文化を知る。  
松本の今にふれ、未来を思う。  
まるごと松本を知る旅のスタート地点です。



「学都松本」

## 松本市博物館協議会委員名簿(案)

No	氏 名	所属団体・役職等	区 分	通算回数
1	横山 耕二 ヨコヤマ コウジニ	松本市立安曇小中学校長	学校教育関係者	再任 (2)
2	横澤 徳人 ヨコザワ トクジン	松本まるごと博物館友の会 会長	社会教育関係者	再任 (4)
3	百瀬 英昭 モモセ ヒデアキ	市民学芸員の会 会長	社会教育関係者	新任 (1)
4	村井 博子 ムライ ヒロコ	特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	新任 (1)
5	笹本 正治 ササモト ショウジ	長野県立歴史館 館長	有識者	再任 (4)
6	山根 宏文 ヤマネ ヒロフミ	松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授	有識者	新任 (1)
7	米山 文香 ヨネヤマ フミカ	松本市文化財審議委員会委員	有識者	新任 (1)
8	飯島 隆一 イイジマ タカカズ		公募による市民	新任 (1)
9	奥村 二三雄 オクムラ ニミオ		公募による市民	新任 (1)

任期は平成30年11月1日から平成32年10月31日まで  
 区分欄には、松本市立博物館条例第11条第3項による区分を示す  
 通算回数内の()内は通算回数を示す

教育委員会資料
30.10.24
教育政策課

## 第7回学都松本フォーラムの開催結果について

### 1 趣旨

第7回学都松本フォーラムの開催結果について報告するものです。

### 2 開催内容

- (1) 期日 平成30年9月22日(土)から23日(日)まで
- (2) 会場 Mウイング(中央公民館)及び中央体育館
- (3) テーマ 「学ぶ」っておもしろい!
- (4) 内容 基調講演会、各団体展示催事など
- (5) 同時開催イベント  
2018松本ノーマイカーデー(22日のみ) 第10回子どもプレイパーク
- (6) 主催 松本市教育委員会(主管:学都松本推進協議会)

### 3 参加人数・アンケート集計及び各委員からの意見など

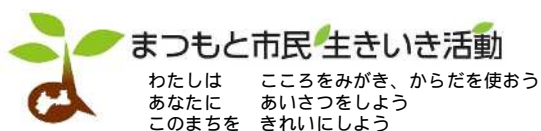
参加人数の大幅な減少は、各委員からも大きな課題として認識されています。内容に関しては、子ども向けの体験重視のワークショップから、大人がしっかりと考える講座まで幅広くあり大変好評であることから、早めの準備を行い周知に工夫してもっと多くの方に「学都松本」を知っていただきたいという意見が多く寄せられました。

詳細については別冊 第7回学都松本フォーラム各種集計結果報告書参照

### 4 今後について

第7回学都松本フォーラム各種集計結果報告を基に、学都松本推進協議会で来年度学都松本フォーラムの会場や日程、方向性について検討していきます。また、あわせて年間を通じた学都松本推進事業についても引き続き企画をしていきます。

担当	教育政策課
課長	小林 伸一
電話	33 - 3980



「学都松本」

## 第7回学都松本フォーラム 各種集計結果報告

以下の事項について報告をします。

■参加者数集計	・・・・・・・・	1
各会場延べ人数	・・・・・・・・	2
■参加者アンケート		
選択肢分集計	・・・・・・・・	3
■参加者数、アンケート分析	・・・・・・・・	4
記述分集計		
総合受付など	・・・・・・・・	7
基調講演会	・・・・・・・・	10
■展示催事企画報告書一覧	・・・・・・・・	14
■協議会委員、事務局委員の感想	・・・・・・・・	21





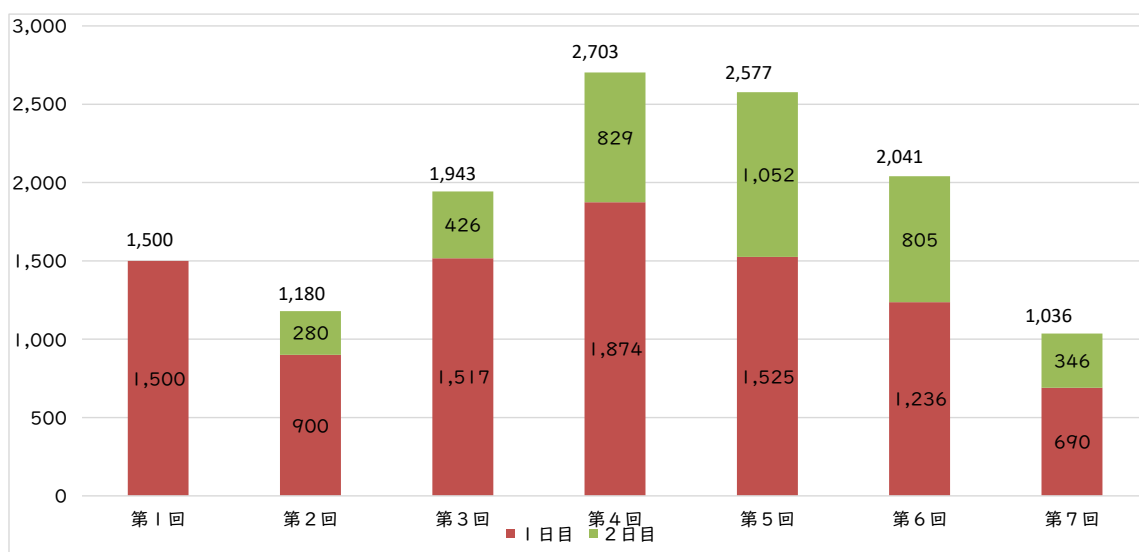
## 第7回学都松本フォーラム 参加者数集計

### 参加者数

内 容	9月22日(土)	9月23日(日)	計	前年	前年比
(1) 基調講演会	170	/	170	161	9
(2) 総合受付 (1)、(3)以外	294	246	540	1,230	-690
(3) 同時開催イベント	226	100	326	650	-324
①2018松本ノーマイカーデミニ図書館	86	/	86	/	/
②第10回プレイパーク	140	100	240	/	/
合 計	690	346	1,036	2,041	-1,005

※同時開催イベントは①会場変更に伴う新規のもの及び②前回数値が無いもののため前年比を算出できません。

過去のフォーラム開催状況	1日目	2日目	計
第1回 (H24、1日開催)	1,500	/	1,500
第2回 (H25、2日開催)	900	280	1,180
第3回 (H26、2日開催)	1,517	426	1,943
第4回 (H27、2日開催)	1,874	829	2,703
第5回 (H28、2日開催)	1,525	1,052	2,577
第6回 (H29、2日開催)	1,236	805	2,041
第7回 (H30、2日開催) 会場変更Mウイング・中央体育館	690	346	1,036



## 各会場延べ人数

催事内容	会場	9月22日(土)	9月23日(日)	計	会場計
1 第10回子どもプレイパーク	中央 体育館	140	100	240	623
2 新しい博物館をご紹介		142	112	254	
3 ボッチャ体験		57	72	129	
4 ごみの減量について(展示)	連絡通路				
5 文化財トピックス(展示)					
6 2018松本ノーマイカーデー(展示)					
7 柳田理科雄基調講演会	6階	170		170	341
8 映画「蟻の兵隊」上映会 池谷薫監督トークセッション		50		50	
9 第3回学都松本教育100年を語る会 「楽しい学校ってどんなところ？」			35	35	
10 ノーマイカーデーミニ図書館		86		86	
11 ビー玉コマづくり	5階		40	40	40
12 「リブメンおはなし会」	4階	32	25	57	517
13 「図書館を知ろう!本を楽しもう!」		69	41	110	
14 みんなで家族で食育体験 あの日の給食		70	100	170	
15 いっしょにつくろう! 親子で食事作りに挑戦		14		14	
16 認知症サポーター養成講座		4		4	
17 光るどろだんごを作ろう		54	41	95	
18 まが玉作り体験		31	36	67	
19 松本城のここがすごい(展示) 江戸時代の松本を知ろう			87	87	
20 プラ板ペンダントを作ろう	75		75	361	
21 世界の言葉であいさつしよう 多文化体験っておもしろい	80	55	135		
22 科学工作教室「ロケットを飛ばそう」		64	64		
合計		1074	808		1,882

※展示のみで人数カウントが困難な催しは数字計上していません。



## 第7回学都松本フォーラム アンケート集計

昨年度アンケートからの変更点

- ・「学都松本」を市内だけの周知にしないよう、来場者の居住区分の設問を新規実施
- ・性別は、他の設問に影響を及ぼす差は無いと考え設問削除
- ・テーマ「学ぶっておもしろい」についての設問を詳細含め新規実施

### I 選択肢分

#### 1 年齢

	計				総合受付				基調講演			
		前回		前回		前回		前回		前回		前回
10代	39	(4)	21%	(4%)	15	(2)	8%	(2%)	24	(2)	13%	(2%)
20代	2	(0)	1%	(0%)	1	(0)	1%	(0%)	1	(0)	1%	(0%)
30代	42	(14)	23%	(14%)	36	(14)	19%	(14%)	6	(0)	3%	(0%)
40代	73	(20)	39%	(20%)	44	(11)	24%	(11%)	29	(9)	16%	(9%)
50代	13	(18)	7%	(18%)	5	(3)	3%	(3%)	8	(15)	4%	(15%)
60代	8	(18)	4%	(18%)	2	(3)	1%	(3%)	6	(15)	3%	(15%)
70代以上	5	(20)	3%	(20%)	4	(3)	2%	(3%)	1	(17)	1%	(17%)
不明	4	(4)	2%	(4%)	1	(3)	1%	(3%)	3	(1)	2%	(1%)
合計	186	(98)	100%	(100%)	108	(39)	58%	(40%)	78	(59)	42%	(60%)

#### 2 どちらからお越しいただきましたか？（新規設問）

	計		総合受付		基調講演	
市内在住	97	92%	58	55%	39	37%
隣接市町村	6	6%	4	4%	2	2%
それ以外	2	2%	2	2%	0	0%
合計	105	100%	64	61%	41	39%

※未記入（不明）のものは総数から除外しています。（以下の設問も同じ）

#### 3 どうやって知りましたか（複数回答可）

	計		総合受付など		基調講演	
広報まつもと	41	20%	20	10%	21	10%
インターネット	5	2%	4	2%	1	0%
回覧チラシ	10	5%	6	3%	4	2%
学校保育園チラシ	92	45%	53	26%	39	19%
ポスター	12	6%	6	3%	6	3%
新聞	7	3%	4	2%	3	1%
知人等	20	10%	13	6%	7	3%
その他（通りがかり等）	17	8%	15	7%	2	1%
合計	204	100%	121	59%	83	41%

#### 4 イベントはいかがでしたか

	計				総合受付など				基調講演			
		前回		前回		前回		前回		前回		前回
とても楽しかった（良かった）	131	(50)	72%	(51%)	62	(33)	34%	(34%)	69	(50)	38%	(51%)
楽しかった（良かった）	44	(41)	24%	(42%)	39		22%		5	(8)	3%	(9%)
普通	5	(6)	3%	(7%)	5	(6)	3%	(6%)	0	(0)	0%	(0%)
つまらなかった	0	(0)	0%	(0%)	0	(0)	0%	(0%)	0	(0)	0%	(0%)
とてもつまらなかった	1		1%		1		1%		0		0%	
合計	181	(97)	100%	(100%)	107	(39)	59%	(40%)	74	(58)	41%	(60%)

#### 5 学都松本を知っていますか？

	計				総合受付など				基調講演			
		前回		前回		前回		前回		前回		前回
知っている	92	(56)	51%	(57%)	49	(21)	27%	(21%)	43	(35)	24%	(36%)
聞いたことはある	63	(31)	35%	(32%)	41	(13)	23%	(13%)	22	(18)	12%	(18%)
全く知らない	24	(11)	13%	(11%)	16	(5)	9%	(5%)	8	(6)	4%	(6%)
合計	179	(98)	100%	(100%)	106	(39)	59%	(40%)	73	(59)	41%	(60%)

#### 6 学ぶっておもしろいと感じたことはありますか？（新規設問）

	総合受付	
はい	93	95%
いいえ	5	5%
合計	98	100%

## II 参加者数、およびアンケート選択肢部分集計の分析

### 1 参加者数について

両日共に天候に恵まれていましたが、2日間で1,036人の参加にとどまりました。昨年度(2,041人)と比べほぼ半減、第1回~で最も少ない参加者になりました。

要因としては、会場をあがたの森文化会館及びあがたの森公園から、初めてMウイング及び中央体育館へ変更したために、近隣に無料の駐車場が無くなったことが考えられます。

自家用車で小さなお子さんと一緒に参加した方などが、駐車料金(1時間300円)を割高と考えているアンケート回答などもありました。

開催時期については9月第1週の土日から、小学校運動会などとのバッティングを避けて第4週の土日へ変更しましたが、なんなんひろば文化祭や美術館夕涼み、ファミリースポーツカーニバルなどのイベントと重なりました。それぞれのイベントは両方参加も不可能ではないため、参加者数の減少に大きな影響は与えていないと想定されますが、イベント企画運営者の人手不足の声がありました。

フォーラムの告知について【9月にフォーラムを行う】告知だけでは、楽しさなどがしっかりと伝わらないため、体験講座などは年度当初から定期的に開催し、その参加者の口コミなども利用して【フォーラムの楽しさ】を広げていく取組みも有効ではないかと考えられます。

### 2 2日間開催について

第1回開催後、イベント企画者の「準備が大変なのに1日だけではもったいない」との声から、第2回より土日の2日間開催へと拡大しました。

しかし、同時開催の子どもプレイパークは土曜日でのみの開催で、日曜日(2日目)の参加者が伸び悩むこともあり、プレイパークの子ども達にもご協力をいただきながら徐々に両日開催できるようになってきました。

今年度は両日ともに、昨年度よりもプレイパークの開催時間を延長していただき、子ども達の集客に大きな効果があったと考えられるため、プレイパークの開催日程も含め2日間開催についても学都松本推進協議会で協議していきます。

### 3 会場内の回遊性について

各会場の延べ人数(階別)集計は階ごとに会議室やイベント数が異なるため、単純に比較はできませんが、中央体育館を中心に各階への人の流れができていたのではないかと考えられます。

しかし、会議室の入口が奥まっていたり廊下が暗い印象も強く、一体感のある会場の雰囲気作りも課題として今後検討していきます。

### 4 アンケート(選択肢部分)集計について

アンケート回収数(186件)は昨年度(98件)に比べ大きく改善しています。今年度は昨年度の反省を生かしアンケートをファイルバックに入れず、回答いただいた方にスタンプラ

リーの景品を選んでいただくようにした成果が表れたものではないかと推察されます。

来場者の分布は、総合受付、基調講演会の両方で10代及びその保護者と考えられる30～40代の回答が大きく伸びています。周知媒体の集計でも【学校・保育園チラシ】が主たる情報源となったことから、子育て世代を中心に来場いただいた結果だと考えられます。基調講演講師の柳田理科雄さんは、著作に子ども向けの書籍があったため小学生から中学生まで幅広い子どもの来場をいただきました。

一方、50代以上の方は回収数が増えているにも関わらず、昨年度に比べ大きく数を減じているため企画内容に課題があった可能性や、自家用車で来場が多い年代層であるのではないかと推察されます。また、20代の回答が少ない傾向は変わっていません。今後も20代に向けた展示催事の企画等、幅広い世代へアピールできる手法・内容を検討します。

新規設問の居住地に関しては、やはり圧倒的に市内在住の方が多く、隣接市町村から通勤・通学されている方などの取り込みは更なる工夫が必要と考えられます。また、学都松本を「岳都」や「楽都」のように国内外へ広くPRできるような取組みも今後検討が必要と思われます。

周知媒体について昨年度までは、総合受付ではチラシ（学校・保育園からのチラシを含む）、基調講演会では広報まつもを見て知った方が多い傾向が見られましたが、今年度はいずれのアンケートでも学校・保育園からのチラシが主たる情報源、次いで広報まつもとなっていました。

今年度は、開催週を9月第4週としたことで、夏休み明けの学校からのチラシでも十分な時間があつたこと、9月の広報まつもとへ掲載できたこと等が要因ではないかと考えます。同じチラシでも町内回覧は手元に残らないこともあつてか、情報源としての印象は薄いという結果になりましたが、学校に通う子どもがいない世帯などへの情報提供などバランスを考慮して今後の課題としていきます。

また、公式ホームページやFacebookを使ったネット上の告知は、十分な活用ができなかったため、各種催事の詳細や、画像などここでしか得られない情報を発信する場として、更なる活用を目指していきます。

イベント内容についての感想は、記述部分で改善点の指摘等ありますが、ほとんどが良かった以上の回答でした。参加いただいた方には好評をいただけているため、より多くの方へ体験をお届けできるような取組みを今後も続けていきます。（とてもつまらなかったの回答が1件ありましたが、記述部分はパネルが展示してあるだけで見ても面白くなかったというものでしたので、体験イベント等の場所が分かりにくかった、または、終了間際に参加された可能性もあります。）

学都フォーラムの主目的である「学都松本」の周知に関しては、ほぼ昨年度同様の結果となりました。参加者の年代層がやや変化したにも関わらず、同じような割合となったことは世代

を問わず、一定の周知はできている結果ではないかと考えられるので、引き続き広い世代に向けた様々な周知活動を検討していきます。

新規設問として、フォーラムテーマである「学んで おもしろい！」と参加者の方が感じたことがあるかをお聞きしたところ、非常に多くの方から【ある】とお答えいただきました。どんな時におもしろいと感じるかは自由記述部分集計にまとめました。

最も多かったと思われる回答は【知らなかったことを知れた時】のように【未知のもの】【意識していなかったもの】に【気付けた（いた）時】に「学んで おもしろい！」と感じるでした。

フォーラムでの体験は受動的な部分もありますが、それをきっかけとして自らが能動的に学ぶ楽しさを探求していける取組みを、アンケート回答などを参考に検討していきます。

## アンケート記述部分

### I 総合受付分

#### (I)フォーラムの感想

- ・ 子どもがイベントスタッフをやらせてもらって、楽しそうだった。
- ・ 子どもがとても楽しく参加できた
- ・ 子どもが楽しめた（同じご意見1件）
- ・ スライムなど子どもが楽しめた
- ・ 子どもが喜んで参加していました
- ・ 子どもが色々体験できた
- ・ 子どもも簡単に楽しめるものが多かった
- ・ 子どもが参加できるものが多かったので
- ・ 子どもが刺激をうけていました
- ・ 子どもが積極的に参加していたため
- ・ いろいろ勉強になった。小さい子も楽しめた
- ・ いろいろ作れて子ども達がよろこんでました（同じご意見1件）
- ・ 子どもが楽しめる様々な企画、とても良かったです
- ・ 色々作れて楽しかった
- ・ 色々なことが体験できたため（同じご意見1件）
- ・ 色々体験でき知ることができた
- ・ 色々な体験ができるところが楽しかった
- ・ 色々作れたので楽しかった
- ・ いろんなブースがあって楽しかった
- ・ 見るだけでなく参加型だったため
- ・ 色々なことがあったから
- ・ 色々な事を知ることができてとても良かったです
- ・ 体験できてよい
- ・ 体験型で参加できたから
- ・ 物を作ったりすることが子どもたちは大好きなので楽しかった。家ではやらせてあげられない、できないことができて助かっています。
- ・ 科学的なことも体験できたから
- ・ 子どもが大きくなり同じことを一緒にする時間が減ってしまったので、親も子も一緒に楽しめました
- ・ スタンプラリーや簡単に作れる工作が充実していて最高でした
- ・ クイズラリーで楽しく回ることができた
- ・ クイズラリーが楽しかった。つみきで遊ぶのが楽しかった
- ・ パズルやスタンプラリーなど色々なことを楽しめた
- ・ クイズラリーで松本のことを知ることができた。松本まちづくりが楽しかった

- ・ クイズやスタンプラリーがあって楽しかった（同じご意見1件）
- ・ スタンプラリーを通じて役立ち情報を得られた。子ども達も楽しめた
- ・ スタンプラリーで回るとともに、色々な展示を見ることができました
- ・ 無料で簡単に作れてとても楽しめました
- ・ 無料でできるコーナーが充実していた
- ・ ボッチャが楽しかった
- ・ ふだんやらない料理づくりができた
- ・ 歴史のパズルが楽しかった。
- ・ まが玉作りがたのしかった
- ・ だろだんごづくりはみんな楽しめていたので続けたほうがいいと思う
- ・ 減塩のみそ汁の比較を体験できて面白かった
- ・ まが玉作りやレインボーキラキラなどふだんできない体験ができた
- ・ 2日間参加しましたが理科雄先生の講演会が楽しかったです。
- ・ 未就学児から参加できるコーナーがあり良かった。「ボッチャ」はとても楽しかったと子どもが言っていました。
- ・ スポーツあり、ワークショップも多彩（同じご意見2件）
- ・ いつも楽しく見させてもらっています
- ・ とても楽しくてまた来たいです
- ・ 大変優しく教えていただいた
- ・ ボランティアの高校生が子どもたちにやさしく工作をおしえてくださいました
- ・ 色々日常で体験できないことができた
- ・ また他の地域でもやってほしい
- ・ また開催して欲しいです
- ・ また次回もやってほしいと思った
- ・ 全く違う視点から松本市を見られた
- ・ 子どもがクイズラリーを一生懸命してました。まだ4才だったので少しおぼつかしかったようです
- ・ ふるまい汁などあるとうれしかった
- ・ とても親子で楽しませてもらっています、16時か16時半ころまでやっていただけると嬉しいです
- ・ 駐車料金がかからないと助かる
- ・ 駐車場がないと大変です
- ・ 郊外（梓川）に住んでいるので、この楽しいフォーラムを知らなかった。知りたいと思った
- ・ 展示パネルが多く、ただ見るだけでは楽しくなかった。部屋に入りにくいです。

**(2)「学都松本」について、ご自由にご記入ください。**

- ・ 子どもの教育イベントがたくさん開催されていて良い
- ・ 岳都、楽都等からみがあり、他と比べて面白い

- ・ 市長が健康の事を頑張っているので、すばらしいと思う
- ・ 良いキャッチフレーズだと思います
- ・ 岳楽学という音のゴロあわせがよい
- ・ 三ガク都が揃っているのは松本だけ！
- ・ 教育に熱心だと思う
- ・ よい企画であると感心しています
- ・ ドクトルマンボウのシリーズは面白い

### (3)どんな時に学んでおもしろい！と感じましたか？

- ・ わかったとき
- ・ 知らないことを知った時（同じご意見12件）
- ・ わからないことがわかった瞬間（同じご意見2件）
- ・ 知らないことがふえた時
- ・ 知らないことが増えた時、また学ぶことが増えた時
- ・ 答えがわかった時
- ・ 新しいことを知って「へー」と思ったとき
- ・ 自分が今まで思いもよらないことを知った時おもしろい！と感じます。世界が広がった瞬間です
- ・ 知らなかったことについて学べたとき
- ・ 知らないことを知って、驚いたり感動したりしたとき
- ・ 知らないことに接したとき
- ・ 知らないことやわからなかったことなどがわかった時。本を読んでいると自分の知らない世界があるのだなと楽しくなる
- ・ 難しいところがわかった時
- ・ できなかったことができるようになる
- ・ 習い事をしていた時むずかしい事ができるようになるととても嬉しかった
- ・ 発見があった時（同じご意見2件）
- ・ 新しい発見があった時
- ・ 細かいことをして何かを作ってみたり、ちょっとした工夫で結果がずいぶん変わったりしたとき
- ・ 年を重ねても新しい発見があるので
- ・ 何気ない日常のことも色々発見できるから
- ・ 子どもと一緒に調べていると発見があったりする
- ・ 子どもと一緒にものづくり
- ・ 子どもの目から学ぶことが多いこと
- ・ 子どもの目がキラキラしているとき
- ・ 勉強になったと思ったら
- ・ 仕組みを知った時

- ・理由が分かるとおもしろい
- ・疑問が出たとき
- ・語学がどんどんできるようになった時
- ・語学などは、とくに面白い、もっと知りたいと思った
- ・大人になっても好きなことを学べることの幸せを感じたとき
- ・学ぶから
- ・いつも
- ・遊んでいるとき
- ・音楽
- ・知的好奇心が満たされた時
- ・相手の質問に答えられた時
- ・実際にクラフトなどできる時
- ・つくること
- ・答えを導きだせたとき気持ちいい
- ・新しい事を知って、それが何かの役にたったとき
- ・「学ぶ」ことでめざす「本当に大切なこと」は何なのか。人の意見も聞きたいし、私の意見ものべてみたいです
- ・わかった時、知識になった時
- ・試験に受かった時、分からないことが分かった時、学んだことを相手に伝えて分かってもらった時
- ・新しいことを教えてもらったとき

## II 基調講演会分

### (I)基調講演の感想

- ・とても楽しくお聞きしました（同じご意見5件）
- ・色んなことを楽しく、面白く話してくれたから
- ・わかりやすくおもしろい
- ・すごく面白かった。興味深い話がたくさんあった
- ・何ごとにも興味を持って楽しくやることがとても大切と感じた。話が楽しくあつという間の1.5時間でした
- ・興味をひく話ばかりでとても楽しく1時間半があつという間でした
- ・楽しくて時間があつという間でした。来てよかったです
- ・子どもにもわかりやすく楽しい話を聞かせていただきました（同じご意見2件）
- ・いつもは発言しない、体験したがない下の子がとても積極的でした
- ・中学生の子どもと楽しくお話をききました。良い時間をすごせました。ありがとうございます
- ・子ども達が今大好きで呼んでいる本の著者ということで来ました。本も「本人」もとても楽しい方でした。家でもやってみみたいです



- ・ 子どもがとても楽しく聞かせて頂きました。私自身も勉強になりました
- ・ 子どもが楽しんでいた
- ・ 子ども達が喜んで聞いていて、みんな理科好きになってくれたらと思います
- ・ 実験をすることにより子ども達にいろいろの興味を与えたと思います
- ・ 子ども達が楽しく参加できた。身近な物でできる実験で、やってみようという気持ちになれた
- ・ 特にドライアイスのばくだんがドキドキした
- ・ 話しや実験等、何もかもが面白かった
- ・ 実験楽しかった（同じご意見2件）
- ・ 科学読本のような夢をこわす話や実験がおもしろかった！
- ・ 実験を体験できてとても良かった
- ・ 科学がとても身近にかんじられる楽しい実験だった
- ・ 1つ1つの実験の解説やその内容がとても面白かった
- ・ 夢のある楽しい話・実験、とても有意義な時間が過ごせました。ありがとうございました
- ・ 空想科学図書館通信を読んでいるので、実験が大変おもしろかったです
- ・ とても会いたかった先生のお話が聞けてよかったです
- ・ 理科雄先生が好きだから
- ・ 生で理科雄先生にお会いできたこと。子ども達も目を輝かせてきいていました。親が伝えても伝わらない大切なことが子ども達にも響いたと思います
- ・ 柳田さんには一度お話を聞きたかったので、本当にこの機会にあえて嬉しかったです。ナイスチョイスです
- ・ 子どもの大好きな本の「空想科学読本」の柳田さんの来松ということでとっても楽しみに来ましたし、実際の話もとても楽しかったです
- ・ 講師の先生に興味があった。空想科学読本が好きだから
- ・ アニメの話で話していただくと興味深くおもしろい
- ・ ドラえもんの話は少し眠たくなった
- ・ アンパンマンやサザエさんの動きの科学がとても楽しかった
- ・ いつも読み親しんでいる空想科学読本の作者と会えて子ども達が感激していました
- ・ 学生の頃に何冊も読んだ「空想科学読本」の著者さんのお話を生で聞くことができ、学生の頃の自分に自慢したくなりました。学生の頃に聞けたら、理系にもっと興味がでたのかなと思います
- ・ 数字を作ったの考え方はとても参考になりました
- ・ 日頃目にしているものも数字にすると興味深く、おもしろかったです
- ・ 本の文字よりも理科の面白さが伝わってくるような気がしました
- ・ ふだんむすかしいと思っていた科学が、楽しく身近に感じられた
- ・ 楽しんで科学を知ることができた
- ・ 子どもにもわかりやすい言葉でていねいに理科のたのしさを伝えてくださった。「勇気をもって1歩をふみだす、失敗してもいいんだ」ととても心にひびいた

- ・ 文系おばちゃんにもよく分かった
- ・ 普段当たり前だと思っていることが「なぜ？」の視点を与えてくれたんだと思います。そのような点で大人にも有意義だったのではないのでしょうか
- ・ 初めてお聞きしました。楽しく学ぶことの楽しさを教えていただきました
- ・ 有名な方のお話だったので

**(2)その他ご自由にご記入ください。**

- ・ マヨネーズロケットおもしろい！
- ・ 天井の穴が心配！
- ・ とても楽しかったです
- ・ とてもいいと思う
- ・ 今、娘が一番ハマっている本の著者さんのお話が聞けて本当に嬉しかったです
- ・ 面白かったです
- ・ 最高！めっちゃめっちゃおもしろかった！
- ・ 本の販売等もしてほしかった
- ・ 実験をもとに他の意見など応用を考えさせたらどうでしょうか
- ・ 講演の時間がちょうどよかった
- ・ 子どもに色々なことに興味をもってもらい、それを小さなことでも育ててあげることが大切だと思いました
- ・ 子ども大人みんなが楽しい時間になったと思います。学ぶって楽しい、科学に興味を持つ子どもが増えたと思います
- ・ 学ぶ楽しさを改めて感じられたと思います
- ・ また、柳田先生のお話を聞いてみたくくなりました
- ・ 又聞きたいです
- ・ また、こんな話を聞きたい
- ・ 学校でもこういうお話をお聞きできる機会があるといいと思います
- ・ 読書嫌いな息子がゲラゲラ笑いながら読んでくれ、家族でシリーズを読んでいた先生の講演会でとても楽しかったです。先生の穏やかな話し方にお人柄を感じました。ラジオ「きこえたまご」楽しみにしています
- ・ 学都というテーマにはぴったりの内容でした
- ・ 又、このような講演会に参加したいです
- ・ 柳田さんの本は本当におもしろく、今日の講演を楽しみにしていました
- ・ 他にどういうおもしろい実験がありますか？もっと知りたいです

**(3)「学都松本」について、ご自由にご記入ください。**

- ・ また楽しいお話をきく機会をください
- ・ これからもつづけて下さい
- ・ 子どもを対象にした今回の試みは大変良かったと思います。子どもに興味を与えることは大



変良いことであり又その理由を考えさせることが良いと思います

- ・ 毎年講演会に参加させていただいています。学んでおもしろいを続けてほしい
- ・ 今日のフォーラムについて、開催日や内容などをネットで調べましたが、公式 HP などが見当たりませんでした。昨年以前のはあったので、整えて作っていただけるとありがたいです
- ・ 難しい内容よりも、やはり楽しいというテーマでの内容づくりがすばらしい
- ・ 「学都松本」というフレーズが良い
- ・ 今日のような内外の英知が日常的に市民に提供されるといいですね




**(4)学都フォーラムで聞いてみたいお話があればご自由にご記入ください。**

- ・ 食育関係の話題。信州の食文化を絡めて深めるといいかなと思います
- ・ 「お弁当の日」に関するお話
- ・ 磯田道史先生のお話を聞きたい
- ・ 北杜夫さんの娘さん(以前も来ていただいたかもしれませんが)
- ・ もう一度柳田先生に来ていただきたい
- ・ 今日のような楽しい話
- ・ 今年のように、子ども達に参加できる(したくなる)内容も、隔年くらいで入れてほしい
- ・ 今日のような子ども達に人気のある作家のお話をうかがいたいです
- ・ 子どもが興味をもつような話
- ・ 面白い話を面白い先生から聞きたい
- ・ 宇宙から見る地球の話 音楽の話 を佐治晴夫先生から聞きたい
- ・ 宇宙の話 縣先生 (同じご意見2件)
- ・ 重松 清さん
- ・ マンガ家の天野明さん 池上彰さん 黒柳徹子さん(子どもの頃の話)
- ・ 時代小説の時代考証の様子について聞きたい
- ・ 生物関係(福岡伸一先生)
- ・ 素粒子の話、素粒子物理学者等
- ・ 子どもに英語教育は必要か？
- ・ 影山英雄さん
- ・ 親子で楽しめる話や伝統芸能についての話
- ・ 山口トモさん(楽器奏者) すてきなテーマになると思う
- ・ ポケモンを作った人
- ・ ポケモンを書いた人のおはなし




展示催事企画報告書一覧

	イベント名	参加人数		団体名	参加者感想	ご意見
		9/22	9/23			
1	第10回子どもプレイパーク	140	100	青少年ホーム		
2	新しい博物館をご紹介します	142	112	博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で楽しむことができたという意見が多かったです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あがたの森が会場だった例年に比べると入場者数がかかなり少なかった印象があります。会場の再考が必要ではないでしょうか。</li> </ul>
						
3	ボッチャ体験	57	72	長野県ボッチャ協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子連れの方がとても多かったのもっと身近にパラスポーツを体験して欲しかったのですが、実際は親御さんが決めていて親が興味を持たないものには不参加と、子どもがチャレンジしたくても親の意見によってそのきっかけも断たれてしまうこともあると感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あがたの森公園ではなく市街地の有料駐車場を利用しないと入れないこの場所で、終日待っているだけの時間はやめて、もっと宣伝をして集客力のある催事になるような働きをしていただくとありがたいと思います。お世話になりました。</li> <li>次回参加させていただくときは2名ほど協力者が欲しいと思いました（多ければ助かります）</li> </ul>


イベント名	参加人数		団体名	参加者感想	ご意見
	9/22	9/23			
					
4	ゴミの減量について		環境業務課		<ul style="list-style-type: none"> <li>盛りだくさんの体験コーナーや展示があり、子ども達の楽しむ姿が見れてよかったです</li> </ul>
5	文化財トピックス		文化財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズラリーに参加する子供連れが多い印象でした。答えてすぐ次に行ってしまう方がいる一方で、クイズをきっかけに発掘調査地の場所など展示内容に関心を持ってくれた方もいました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示や体験コーナー、イベントが多くあり、しっかり参加すれば「学ぶっておもしろい！」が何度も感じられるフォーラムだと思いました。会場が階ごとに分かれており、人の出入りが少ない階もあったため、来の方が素通りではなく色々な階のイベントに参加できるように誘導方法を考えていければと思います。</li> </ul>
					


	イベント名	参加人数		団体名	参加者感想	ご意見
		9/22	9/23			
6	基調講演 柳田理科雄さん 「考えることは楽しい だから科学はおもしろい」 (講演音声データありテ ープ起こし中)	170		学都松本推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者感想等はアンケート集計参 照</li> </ul>	
7	「蟻の兵隊」上映会 (池谷薫監督トークセッ ション) (トークセッション音声 データありテープ起こし 中)	50		戦争と平和史ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>重い内容だがみなが知るべきことだ</li> <li>見ることができてよかった</li> <li>今日の日本社会の問題でもある</li> <li>監督の話が貴重だった</li> </ul> などおおむね好評だった	<ul style="list-style-type: none"> <li>学都松本フォーラムの中でやらせ ていただいたことに感謝します。</li> <li>映像の持つ力も「学び」のツールだ と思います。</li> <li>時間が長いのはやむを得ないと思 いますが「午前、午後」にまたがら ず納めていただいたこともありが たかったです。</li> </ul>
8	第3回学都松本教育 100 年を語る会 「楽しい学校ってどんな ところ？」		35	学都松本推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙まとめ参照</li> </ul>	
9	ノーマイカーデーミニ図 書館	86		松本市ノーマイカー デー推進市民会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズラリーの問題になっているパ ネルを見て感心されていた。</li> <li>記念品は喜ばれた</li> </ul>	

	イベント名	参加人数		団体名	参加者感想	ご意見
		9/22	9/23			
10	ビー玉でコマ作り		40	学校指導課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビー玉だけでコマができるなんて驚き</li> <li>・ 重力や遠心力って不思議</li> <li>・ 子どもプレイパークの会場で実施したら、もっと参加者が増えそう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ M ウイングでの開催は雨の心配がなくて良いと思いました。だが立地等により参加者は少ないかなと感じた。</li> </ul>
						
11	リブメンおはなし会	32	25	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加型のプログラムだったため、大人も子ども楽しんでいただくことができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車券の時間を気にして途中退席されるご家族がいました。立地上、仕方のないことではありますが課題に感じました。</li> </ul>
						
12	「図書館を知ろう！本を楽しもう！」	69	41	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クイズ形式の展示には興味を持ってくださる方が多く、良かったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2日目は全体的にも参加者が少なく寂しい時間が多く感じました。</li> </ul>
						

	イベント名	参加人数		団体名	参加者感想	ご意見
		9/22	9/23			
13	みんなで家族で食育体験 あの日の給食	70	100	食育推進関係課 (学校給食課、健康 づくり課、保育課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活を見直せる良い体験になった。</li> <li>・ 幅広く学ぶ機会となってよかった</li> <li>・ 世代ごと楽しめた</li> <li>・ 給食に懐かしさを感じた</li> <li>・ 冷蔵庫クリーンアップデーなど知ることができた</li> <li>・ 具だくさんみそ汁について知れた</li> <li>・ 保育園のころを思い出せた</li> </ul>	
14	いっしょにつくろう！ 親子で食事作りに挑戦	14		保育課 学校給食課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で作るとおいしい</li> <li>・ 楽しかった</li> <li>・ 箸の豆つまみが楽しかった</li> <li>・ レシピが参考になった</li> <li>・ 煮干しを買ってだしをとりたと思った</li> <li>・ 家だと怖くてできなかったが、今回良い体験ができた</li> </ul>	
15	認知症サポーター養成講座	4		高齢福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人がもう少しいればよかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車券の補助等検討してはどうか？ (特に上映会や講演会、講座への参加者へ対して)</li> </ul>
16	光るどろだんごを作ろう	54	41	美術館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親子で協力して楽しめた</li> <li>・ 熱中できた</li> <li>・ また来年も実施して欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープニングセレモニーと各ブースの開始時間の間隔が短かったためお客さんを待たせてしまった。もう少し間が欲しかった</li> </ul> 



	イベント名	参加人数		団体名	参加者感想	ご意見
		9/22	9/23			
17	まが玉を作ろう	31	36	考古博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 去年も作ったのでまた来たという子もいれば、昨年作ったから今年はやらないという子も</li> <li>・ 楽しかった</li> <li>・ クイズがわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個室でありがたかったが、子どもには机が高い</li> <li>・ 23日の午後は同じフロアのブースが閉まってしまうので人があまり回ってこない</li> </ul>
18	松本城のここがすごい 江戸時代の松本をしよう		87	松本城管理事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知らないことを知ることができた</li> <li>・ パズルが難しかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視聴覚室3-Bの入口が奥まったところにあり人の入りが悪かったです。3-1、3-2会議室の入口が1箇所(3-B側を閉めていた)のため人の動線があまり良くなかったと感じました。3-Aにもイベントがあるといいと思います。</li> </ul>
19	プラ板ペンダントを作ろう	75		松本市ものづくり人材育成連絡会		

	イベント名	参加人数		団体名	参加者感想	ご意見
		9/22	9/23			
20	世界のことはであいさつしよう！	80	55	NPO 法人多文化共生ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい会場での開催大変お疲れさまでした。私たちの企画に参加された方々は両日ともとても楽しんでいただけた。展示を見て活動に理解を示してくださる方もいて参加してよかったと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を通して参加者が少ないのがとても残念でした。「こいこい松本」など同会場で行っているイベントでもそれなりに集客があるので来場者が少ないのは無料駐車場が無いだけではなく、日程も含めて集客のための工夫をしてほしいと思いました。</li> <li>スタンプラリーも6階だけで5か所あると6階だけで完結してしまったのでは？と残念でした。</li> </ul>
21	科学工作教室 inM ウイング		64	教育文化センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学工作は来場者に喜んでいただけたと思う。工作室のすぐ隣に遊べる部屋を用意していただけたので作ってからすぐ風船ロケットを飛ばせて親子ともども楽しそうだった。的あてや着地場所めがけてコントロールしながら工夫して飛ばしていた。また紙コップロケットも楽しんでいただけた</li> <li>熱心に取り組む子ども達の姿が2つのブースで見られた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度より来場者が減っている（昨年314名）会場の立地状況や駐車場が有料である等も考えられる。メイン会場が6階と4階だったので3階には来にくかったようだ</li> </ul>
						

## 協議会委員、事務局会議委員から、感想など

第7回学都松本フォーラムに係る以下の事項について、各委員の感想をまとめたものです。

- 1 フォーラムに向けた検討経過について感じた事
- 2 学都松本フォーラムについて感じた事
- 3 学都松本を推進するため、今後取り組むこと、取り上げる議題など
- 4 ほか、お気づきの点をご記入ください。

### 1 協議会での協議など

- ・ 事務局で行う前日準備について、出席者が少なく準備終了までに時間がかかった。欠席をする場合は代理者の出席をした方がよいと思います。
- ・ 事務局の教育政策課さんに任せきりになってしまいました。
- ・ 事務局の負担が大きかったのではないかな。
- ・ 事務局任せな部分が非常に多くあり、1人で全て背負っているように見え申し訳なく思います。前日、当日ともに飛び回っている印象が強かったため、もっと職員に仕事の割り振りをしてもよいのではないかと感じました。
- ・ 学都松本推進協議会、事務局会議、教育政策課職員のメンバーを班分けして、班毎に班長（責任者）を決めて、準備を進めていく方がよいのではないかと感じました。当日の運営に関しても班毎に動いた方がよいと感じました。そうでないと人の効率的な割り振りができない（必要以上一か所に人がいるなど）、教育政策課の担当職員の負担が大きすぎる、その人に聞かないと分からないことが多くなるように思います。
- ・ 講演会の講師は、前年度中に目星をつけておく必要があること、協議会委員さんの負担が増えること等を考えると、新年度から始められることは少ないのかもしれませんが、協議会委員さんには教育に関わる方が多くいらっしゃるの、分科会の内容等へのご意見をお聞きする機会があれば良かったです。
- ・ 事前準備等、事務局会議の出席率が悪いのが気になりました。別の会議と重なることが多いようなので、会議日程がもう少し早く分かると改善につながるのかもしれませんが。
- ・ 教育政策課が考えてくださったことを、教えていただくような形で、あまり検討をしたという実感がありませんでした。
- ・ 検討会議がほとんど周知事項の連絡の場になっていたように感じた。事前に決めた係分担任に応じて割り振りを行ってもよかったと思う。（チラシ・ポスターはデザイン係で案を出す等）
- ・ あらかじめ委員の方々とお話しする機会が何度かあったことで、当日の連帯感が生まれた気がしました。
- ・ ポスターのデザインはデザインの係も加わって考えてもよいのではと感じました。
- ・ 周知方法について、甘かったと実感しました。次年度以降、SNSの積極的な活用や、口コミなど人集めを工夫する取り組みを早い段階から始めたい。
- ・ 事務局だけの会議や係ごとの会議といった、少人数の会議もあつたらよかった。

- ・ チラシがもう少し早く告知できれば良かったと思う。(学校への各戸配布は良かった)
- ・ フォーラムに向けての個人としての姿勢はお手伝い的なものでした。書類で決められたところで、当日気付き、考え、行動する。そんなやり方でした。それでも参加可能で「学ぶ」学都ができ、市民としても楽しめてよかったです。
- ・ 今年度の協議会のスタートが遅かったことには、いささか疑問がありますが、短期決戦的に、問題処理が素早く進んだ感もあります。ただその結果、広報など、手が回らなかった分野があります。情報発信チームが動けませんでした。
- ・ 教育百年を語る会の企画も、準備をもう少し丁寧にすべきところがあったように思います。
- ・ 基調講演講師の決定方法については、かねてより疑問をもっています。「仲介業者」の手によらず、わたしたちの企画として講師選定をすべきではないかと考えます。つまり、予算の制約はともかく、「この中からテーマ＝講師を選べ」ではなく、わたしたちのテーマがあるように思います。例えば、新市庁舎、新博物館、挙げていかどうか新市立病院などは、それなりに今日的な松本市のテーマではないでしょうか。こうした問題意識から、基調講演を企画することがあってもよいのではないかと考えます。もちろん、別のチャンネルで進んでいることとは思いますが、新松本市庁舎について考えたワークショップ—これは私が3月ころ参加した二回ほどのワークショップのことです—のようなものを企画できなかったか、また、第7回に組み込まれた「新博物館」企画についても、もう少し大きく取り上げてよかったですのではないかの思いが残ります。
- ・ 協議会の開催が遅く、初めて参加の自分にとっては内容が把握できないところもあり、わからない点が多く、質問にまで至らなかったのもっと早く開催していただき、しっかり理解した上で実行したかったと思います。
- ・ 初めての参加で、皆さんが経験豊かで話がどんどん進み、戸惑ってしまい場違いの場所へ来てしまったような不安がありご迷惑をかけてしまったと反省しています。
- ・ 初めての参加で、これまでどのように行われていたか不明なため十分なお手伝いができませんでした。
- ・ 協議会の開催が遅れ気味であったので次回はもう少し早めのスタートをお願いできたらと思います。

## 2 フォーラムの運営

### (1) 会場変更、日程変更について

- ・ 会場があがたの森文化会館からMウイングに変わったことで、参加者の数が減った感じがします。(車で来ていた家族連れの分?) 天候に左右されず空調がある施設でイベントを開催できた点はよかったですと思います。
- ・ 他の文化祭やイベントでも展示ブースへの人の移動はなかなか難しいと感じています。多少狭くても体育館に集約させて一体感を持たせるか、全て見渡せる場所での開催が望ましいと思います。
- ・ 今まであがたの森で実施していた様子が分かりませんが、お話を聞くと、例年各

ブースに行列ができるくらい賑わっているとのことでしたが、今年は中央公民館の立地問題等もあり、来場者が非常に少ないと思いました。そのため、Mウイングの外や駅前でピラ配りを行うなど、呼び込みを行っても良いと感じます。(イベントを知らない家族等いるかも)

- ・ 会場がMウイングであったため、駐車場が有料、別目的で来た人が入ってくるのが少ない等の理由が大きい。開催時期も運動会、文化祭、山雅の試合、3連休の初日と中日だった等、他に人が流れる原因があった。
- ・ 松本市全体の事業なので駐車場についてはもっといい方法を考えていかなければいけないのでしょうか。
- ・ 駐車料金は無料にはできないでしょうか。
- ・ 天候もあってか来場者が少なく感じました。駐車場の問題もあるように感じます。
- ・ 天候、またウォーク・ラリー等イベントが重なったためか、来場者が少なかったように思う。会場の都合上しかたないが、会議室等の個室ブースは人の流れ(導線)が難しかった。
- ・ ノーマイカーデーの影響もあるのか伊勢町通など人通りが大変少なく、郊外の各種イベントに参加者が分散したのではないか。開催日時や事前周知の強化など再検討の余地が大いにある。
- ・ 余儀ない選択であったとはいえ、やはり、Mウイングは、会場としては困難が大きかった、との感が否めません。駐車場がないこと、会場内の移動の制約が大きいこと、などです。あがたの森を基本会場としつつ、「ホール」を美術館か芸術館に求める、ということを考えられないものでしょうか。
- ・ 来年度の開催場所の検討が必要では？あがたの森文化会館の講堂のみ使用できないとのことなので、会場はあがたの森で講演のみ近隣の他会場をお借りしてはどうか？(芸術館、勤福、キッセイ文化ホールなど)
- ・ 会場の選定は非常に大事だと痛感しました。「やっている感」を外から見てわかるようにすること、駐車場の確保は必須だと感じました。
- ・ 会場が変わり大変だったと思います。屋内は天気を気にせずできたこと、また一つの建物の中で整然とできたと思います。ただ駐車場の確保のしにくさ、他の行事との兼ね合いで参加者が少なかったことをどう考えるか？だと思います。ある程度の参加人数があればそれでもいいと思いますが、アンケート結果を知りたいです。
- ・ 各ブースを多く見たり体験でき楽しかった。あがたの森より回りやすかったのでは。
- ・ 会場が変わって雰囲気も変わりました。コンパクトで展示や分科会等はゆっくり見られたような気がします。入場者はどうだったのでしょうか？次年度はそれを生かされれば良いと思います。

## (2) 基調講演会

- ・ 講演会について、子どもも大人も楽しめる内容でとても良かったです。しかしなが

ら、知人から「柳田先生の講演会に興味があるが、子ども向けイベントなので行きづらい。講演会の内容も子ども向けなのは。」との話が聞かれました。講演会や分科会には、大人でも参加しやすいことを伝えましたが、確かに、大人一人では参加しづらい雰囲気があるようです。私も空き時間に会場を見て回りましたが、会場全体があがたの森文化会館に比べて照明が暗く感じることもあってか、ブースに足を踏み入れるのは勇気が要りました。

- ・ 柳田先生の講演会は理科離れといわれる中で、子どもの参加者が多く少し未来に光を見た感じがしました。楽しいパフォーマンスで惹きつけ「学ぶっておもしろい」のテーマにぴったりで大変良かった。終了後も控室へ子どもが詰めかけ、帰りの時間が迫る中各人に言葉を贈るお人柄に心を打たれました。欲を言えば中学生、高校生、学校関係者の参加がもっと多ければよかった。
- ・ 講演会、各ブースなど内容はとても良かったと思います。

### (3) 催事展示（屋外催事、同時開催イベント含む）

- ・ 会場の特性を活かして料理教室が実施できたことは、新しい試みで良かったと思います。材料の関係もありますし、実際にどの程度の方が参加希望されたのかは分かりませんが、もう少し参加者の枠を広げてもいいように思えました。
- ・ 今回初めて参加して、子どもの体験学習と休日のお楽しみを合体させたイベントと感じた。参加者は、みな笑顔で楽しんでいたのが成功だったと思う。
- ・ 色々な参加型イベント、子ども達が夢中で取組む姿をみて、多様な体験を通して学んでもらうとても素晴らしいフォーラムでした。ゲーム等で遊ぶ子どもが多い中、「自分で物を作る」「木に触れて、自分から見れば幾何学的にも思える組み立て木の感触を楽しむ」何もかも良かったと思います。
- ・ 分科会の「楽しい学校」に参加したが、話し合いの目的が理解できなかった。
- ・ 展示ブースを拝見しましたが、情報が模造紙に書いて貼ってあるだけで、特に職員の配置もないことから、来館者は興味が湧かないのではないかと感じました。実際体験をすれば、より子どもたちの興味を引くのではないのでしょうか。
- ・ やっていること自体は特に子どもに向けたイベントもあり、大人が興味をもつ映画の上映もありで面白いと思う。周知やPRがやはり難しい課題だと感じた。
- ・ 当日は、各課のブースを運営するのに手一杯で、他との連携が図れず申し訳なかった。
- ・ イベント全体で考えると内容のばらつきが大きく、もう少しまとまりが欲しい。
- ・ 開会式は、趣向を凝らして楽しい演出がされていた。
- ・ オープニングのイベントは急に宿題を与えられ驚いたが、お金もかからなく楽しむことができてアイデア次第だと感じました。
- ・ 「100年を語る会」のイベントはとても良かったと思う
- ・ 蟻の兵隊の上映会、監督の講演について、戦争体験者が次第にいなくなる中誰もが受けとめ、次の世代へ伝えていかなければならない内容であります。ずっしり重く

心に残った。これからもこのような機会があれば良い。

(4) 総合受付、駐車場、案内

- ・ 外から見たときに、イベントが開催されていることが分かりづらいと思いました。バルーンのアーチは、それがきっかけで来場いただいた方もいらっしゃる、設置してよかったです。
- ・ 1階からはあまり人が入ってこなかったのも、人を設置せず案内板等での対応でも良いと思いました。
- ・ 会場内には、北棟駐車場から連絡通路を使って向かう方が多く、1階や2階の会場案内は不要と思われる。2日間担当して、案内したのは2～3組程度でした。
- ・ 「総合案内所6階」の貼り紙を急遽作成し、館内や階段にいくつか掲示しました。どれほど効果があったかは分かりませんが、来年はあらかじめ準備が必要かと思われます。
- ・ 今回は即席で作りましたが、1回入口2カ所に立て看板もしくは横断幕を準備しておけば良かった。
- ・ 階段の踊り場、階段を上がった際やエレベーターを降りた際にすぐ見える位置に案内があれば良かった。
- ・ 各階の踊り場に平面図とその日の催事情報があるとわかりやすかったと思う。(パネル等)
- ・ 電光掲示板を見ている方を何人か見かけたが、掲示板上では各会場の催しの内容が分からなかった。可能であれば、掲示板の表示形式を変えたり、全体のフロアマップを大きく設置できれば良かった。
- ・ 1階の入口の受付を担当したが、あそこに人がいる必要性を感じなかった。6階への誘導看板(大き目のもの)があれば十分だと思う。
- ・ 入口の案内から各会場の案内まで、案内板をもっと多くしたほうが良かったのではと感じる部分があった。
- ・ 総合受付の担当でしたが、交代が予定通りにできませんでした。
- ・ 2日間の行動表は動きを見るのにとても良かったと思います。

(5) フォーラムの認知度、周知関係

- ・ 当日いくつかイベントに参加しましたが、どれも新しい発見のあるおもしろい体験ばかりでした。ただこうしたおもしろいイベントをしているのに、全体的に人の出入りや参加者が少ないように感じました。来場者数で良し悪しは決められませんが、より多くの人に学ぶおもしろさを知ってもらうために、来年は「学都フォーラムに行くのが楽しい」「それはMウイングでやっている」この2つをまず印象付けるPRができればいいと思います。例えば、前回参加した人の「行ってみたらこんなにおもしろかった!」という生の感想をチラシに載せる等。
- ・ フォーラムはその時「あたえられた学び」なのではないでしょうか。「自発的な学び」に貢献

できるまでいっているのでしょうか？

- ・ 認知度が低いと感じたので色々な場所で開催し宣伝していけばどうでしょうか。

#### (6) 対象者

- ・ イベントの主なターゲットユーザー層は、小学生と保護者の親子連れと思われるが、パンフレットなどの案内で十分表現できていないと感じた。また、ターゲットユーザー層がそうだとすれば「学都松本フォーラム」という名前とはミスマッチだと思う。
- ・ 前回よりフォーラムを目的に来ていた方に楽しんでもらえたように感じた
- ・ アンケートに答えていただいた親子を見ていましたが、小さなお子さんを連れた親子連れが多かったと思います。

#### (7) 関わる人

- ・ スタッフの人数が多く、空き時間が多かったです。1日目と2日目でグループ分けして、準備・片付けは全員で、という形でも良いと感じました。
- ・ 当日の空き時間が多かった。また、スタッフの人数が多いように感じた。(2日間で半数ずつにわかるくらいで丁度良かったようにも思う)
- ・ コンセプトは守った上で、企業にも入っていただいてはどうか。市役所だけでは、内容や規模に限界があると感じる。
- ・ 子どもに色々な体験、発見を経験させたいと一緒に参加している大人の姿に感動しました。企業などを通じてフォーラム参加をすすめるのもいいのではないのでしょうか。
- ・ 係の仕事としては、道具の確認などもう少ししておくべきだと思いました。前回経験者の方と一緒にできて助かりました。

### 3 次回フォーラムへ向けて

- ・ 第8回学都松本の協議会の日程を今年度中に決めておくと、会場の予約や出席者の日程調整がしやすくなるのではないのでしょうか。(月1の決まった曜日など)
- ・ お楽しみイベントは続ける前提で以下の要素もあるといいなと思う。「20年後、あのとき学都フォーラムで見たXXXがきっかけで、XXXに興味を持ち、XXXのプロとして活動しています。」となるような、職人や研究者、高校や大学のサークルなどの活動や技が見られると良いと思う。
- ・ 松本市が、どういうマチ創りをしようとしているのか、知ることが必要かもしれないと思います。市役所の多岐にわたる部署が絡むことになるかもしれませんが、その心臓部のようなところがあれば、その心臓部がどういう心とどういうスタッフを擁して活動しているのか、その全体像がイメージできるような場があれば、また、人がおいでならその人と話したい、という想いがわいてきました。
- ・ 学都松本の活動を多くの市民の皆さんに知ってもらい、参加してもらおうこと。



- ・ 社会教育委員さん等多くの団体と連携して参加していただき、このフォーラムの良さを  
知っていただきたい。子ども達もこのような体験の場があることを知っていただければ  
と思いました。そのことが社会教育の活動増につながればよいと感じます。
- ・ 自分の目で見て、興味を持って、遊びから体験し学ぶ。
- ・ この推進協議会の目指すところは何か？まだよくわからない。
- ・ 学校卒業後、社会へ出てからのほうが勉強の必要性を強く感じる。今社会はどんな分野  
でも大きく変化しつつあり「生涯学習」の重要性は増すばかりです。もっと大人向けの  
ものも増やしてはどうでしょう。

#### 4 フォーラム後の企画など

- ・ 松本版・信州型コミュニティスクールに関する学習会を大人（保護者含む）を対象に実  
施することも大事だと感じています。（大事なことですが、認知度が低いので）
- ・ 自主的に学びたくなるような催しや環境づくり
- ・ 楽しみながら学ぶことができるイベント等を検討する
- ・ 推進協議会の仲間が学都について話し合うことができたら良いと思います。それぞれ出  
身母体があるのと、行政の方も勉強になると思います。
- ・ 100年先の学都はどうなっているのかな？その都度地道に考え出したことをつなげ  
ていけば良い。焦ることはないと思います。
- ・ 親子参加型のモノづくり、完成した時の感動、喜びが大きい。

#### 5 その他

- ・ 10代、20代の参加者を増やす企画について検討しても面白いと思う。
- ・ ノーマイカーデーと同時開催するのなら、パークアンドライドの地点から充実させる必  
要がないでしょうか。近郊のパーキングを増やし利用方法をイベントとともに紹介する  
など。例えば空港近くから市街への交通網を整備する努力も必要ではないでしょうか。
- ・ 協議会メンバーにも市職員のようなネームプレートがあったほうが良い。
- ・ 昼食はお弁当でしたが、周辺にはコンビニや食堂が多数あるため、例えば委員各自に  
500円ずつ渡して自由にしてもらえばどうか。

グループワーク(1)「楽しい学校って どんどころ？」各グループ意見  
グループ①楽しいと感じたこと

## 勉強（授業）

算数、数学のわかった時のうれしさ	成績が良かった時
数学が楽しかった	家庭科の授業が楽しみ
テスト高得点	料理実習

## 課外活動

手芸クラブの時間	放送委員会	図書館
クラブ活動のとき	クラブ活動	

## 学校行事

社会科見学、遠足などでの新しい経験	クラス発表会（合唱コンクール、文化祭）	
修学旅行	登山の旅行	合唱コンクール

## 友達（人間関係）

大好きな先輩に会うこと（探すこと）	友達と遊んだとき	友達と遊ぶ（TVゲーム）	
友達と秘密の基地を作る	下校のとき友達と帰ったこと		
休み時間に友達と遊ぶ	休み時間の体育館での遊び	下校時の探検	学校帰りの道草

## 学校生活

給食がおいしかったこと	給食の時間（おいしいものを食べる）
休み時間にバレーボールの練習をすること	

グループ①苦手と感じたこと

## 勉強（授業）

みんなの前で意見を言うこと	大きな声を出せない恥ずかしさ、自信のなさ		
意見発表の手を挙げることの苦しさ	スポーツがうまくできない時		
考えがまとまらない時の恥ずかしさ	テスト勉強	テスト	算数（数学）
	器械体操		

## 課外活動

部活で選手になれなかったこと	部活	スイミング
----------------	----	-------

## 学校行事

運動会で順位を付けられること
旅行、運動会など行事への参加

## 友達（人間関係）

友達とケンカしたとき
友達を無視する人がいる
いじめにあった（それとなく仲間はずれ）

## 学校生活

学級委員の長をやりたくないのにやらされた時
休日がうれしい、何となく決まっているからと学校へ行っていた

## 先生

先生に怒られたとき	先生からにらまれていた
授業がくどくて退屈だった。ガマン会みたいで嫌だった、辛かった。	

グループ②楽しいと感じたこと

<b>学び</b>		
<b>イベント学習</b>		
修学旅行、遠足、登山等の行事	運動会や遠足などのイベント	
みんなで行く修学旅行や遠足	運動会の走り競争で1位になったこと	
<b>授業</b>		
算数の問題が解けたとき	工作やお絵かきの時間	
絵や版画で賞をもらった		
<b>テスト・通信簿</b>		
学カテストで順位が上がった時		
<b>部活・クラブ</b>		
クラス合唱で今までの練習の成果を出し切った	合唱をして声を合わせることに	
演劇で浦島太郎の主演をやった	つくもさい	部活やクラブ活動
<b>休み時間</b>		<b>友達</b>
休み時間に遊ぶこと	みんなが友達	
休み時間にみんなで遊んだこと		
休み時間の遊び	図書館	<b>長期休み</b>
理科準備室で先生とお話	長い休み、夏休み、冬休み、春休み	
<b>校外活動</b>		<b>給食</b>
毎週ヒッチハイクで美ヶ原へ行った	給食	
かたつむりの研究でいっぱい卵から生まれた		
<b>先生</b>		<b>生徒会</b>
先生が自由時間をとってくれた	新聞部で学級新聞を作った	
	生徒会	

グループ②苦手と感じたこと

<b>学び</b>		
<b>宿題</b>		
地獄の中間、期末テスト	通信簿を受け取る時	宿題
長期休みの宿題		
<b>テスト・通信簿</b>		
テスト		<b>参観日</b>
参観日		
<b>通学</b>		<b>友達</b>
通学が遠い	女子がいろいろと先生に言いつけるのが嫌いだった	
朝の早起き		
<b>先生</b>		<b>そうじ</b>
数学の先生がものすごくウザイ	無言清掃	掃除の時間（面倒くさい）
担任があまり好きではなかった（悪ガキに厳しい）		
<b>生徒会</b>		
ルーム長をやらされた		
<b>給食</b>		
おいしくない給食	給食で嫌いなものを残って食べさせられたこと	
給食で食べるのが遅かった時	給食で嫌いなもの（肉の印が押された）が出たとき	

グループ③楽しいと感じたこと

<b>友達と体を動かす</b>				
夏休みのプール	運動会	休み時間	クラブ活動	体育の時間
中学1年の時の1年中サッカーの体育の授業			休み時間の遊び	
休み時間（卓球、馬乗りなど）		クラスマッチ（団体競技）		
クラスマッチで常に1位			地域の行事や遊び	
<b>新たな出会い</b>				
修学旅行	遠足	校外学習		
修学旅行が楽しかった。鎌倉とか東京での思い出が残っています。				
<b>自由！</b>				
図工の時間	自習時間	学校の帰り道	放課後の校庭	
<b>分類無し</b>				
給食当番	トイレ（水洗）掃除			

グループ③苦手と感じたこと

<b>やらされ感！</b>				
小学校の体育の時間ソフトボールがあったが最後に自分が三振してしまい、チームが負けてしまっ て残念な思い出が残っています。				
授業（先生の話ばかり）（ふざけた先生の話）		英語の時間	テスト	
夏休みの自由研究、工作		書初め	宿題	
クラスマッチ（陸上）		音楽会		
部活（軟庭）成長痛		皆の前での発表		
朝掃除、掃除		なんでも先生が決めてしまうこと		
忘れ物をしたとき		先生のげんこつ		

グループ④楽しいと感じたこと

テストでいい点とれた時	体育と図工が大好き	英語
わからないことがわかる時	幾何の証明ができた時	音楽で歌をうたう時
書道、先生が居眠りしてた	音楽、女性の先生をからかってばかりいた	
大好きな教科があった時		
先生が面白いことを言った時	先生が優しい	友達と会えること
中学の卒業文集や学級新聞を作ったこと		友達がほめてくれる時
先生に褒められた時		クラブ活動
	体育祭で優勝した時	部活
クラスのみんなで何かやった時	和太鼓で大好きな先生が教えてくれた時	
クラブ活動(好きなスポーツを仲間と練習したこと)	文化祭が終わった時	
給食おいしい	給食(家では食べられない食事がたくさん出た)	
遠足	修学旅行	先生の住宅での食事会
遠足や修学旅行でグループ別の自由行動が楽しかった		

グループ④苦手と感じたこと

テスト(先生によってはクラス全員の点数を発表した)	嫌いな先生の授業の時
うるさいクラスだからもうちょっと先生が注意したらいいのにしない時	
先生の機嫌で授業態度が変わる	先生が仲間を怒った時のこと
先生に怒られた時	
テストで400点切った時	宿題(特に夏休み帳)
書道の時間	宿題(やらされ感があった)
	児童会で意見が上手くまとまらなかった時
友達が酷い事を言われている時、暴力的な男子が叩いたり殴ったりしてきた時	

グループ⑤楽しいと感じたこと

<b>授業（好き、得意）</b>			
テストでいい点が取れたとき	好きな授業があるとき	体育の授業	
体育や音楽があった日	理科の実験、実験（植物の体）		
<b>イベント（みんなで一緒に）</b>			
友達と練習して成功したとき	音楽会	運動会	音楽の合同練習
<b>先生（好き、おもしろい）</b>			
やろうとしたことを忘れる先生と一緒に過ごしたこと			
先生と話したりほめてもらえた時	先生の授業に関係ない話		
<b>友達（ワイワイ）</b>			
給食	友達との帰り道	友達と遊んだこと	友達と話するとき
休み時間に友達と遊ぶ	友達とふざけていた時	自習の時間	休み時間
<b>その他</b>			
毎日の学級通信	生徒会	読書タイム	

グループ⑤苦手と感じたこと

<b>授業（苦手な）</b>				
苦手な授業があるとき	授業についていけない	寒い日のプール		
苦手な教科が授業やテストで出たとき	テスト			
<b>発表（きんちょう、わからない）</b>				
なかなか自分の考えや意見が出なかったとき	苦手な教科の授業で当てられたとき			
<b>先生</b>		<b>掃除（めんどくさい）</b>		
嫌いな先生の授業		清掃		
怖い先生の授業		そうじの時間		
<b>友達</b>				
友達と気まずいとき	友達とうまくいかない時	悪口を言われたとき		
<b>その他</b>				
運動会の前日準備	生徒会	宿題	給食	中学校の部活

グループ⑥楽しいと感じたこと

授業						
好きな教科	体育	美術の授業	歴史の授業	理科の実験	テスト勉強	水泳の授業
自分たちで授業をした		好きな教科の時間				
学校行事						
修学旅行	学校行事	運動会、学芸会などクラスごとで頑張る事			遠足などの野外活動	
キャンプや修学旅行、とっても楽しかった						
先生						
数学の時間、先生が全部生徒にやらせて考えさせていたので、数学の時間は楽しかった						
歴史の授業（先生のテストが楽しかった）						
友達						
友達と遊ぶとき（サッカー、バスケ、鬼ごっこなど）			友達（各々が決まった友達がいた？）			
友達と放課後いつまでもおしゃべりしていたこと			放課後、道草をしながら友達と帰ったこと			
朝早く学校へ行ってサッカーやバスケをみんなで毎朝やって楽しんでいた						
児童・生徒会				給食		
生徒会活動が楽しくできたこと				給食		
部活						
部活	クラブ活動	部活がみんな仲良しだったので良かった				
その他						
小動物を飼っていたこと（うさぎ、タヌキ、ニワトリ）				先生の家へ家庭訪問		
休みが多かったこと（夏、冬、田植、稲刈、寒中）			みんなで先生の下宿先に遊びに行ったこと			
どんな事にも裏表はある。		子どもが自分でやりたいことをやらせてもらえるのは楽しい				
自分の力を認めてもらえる嬉しい						

グループ⑥苦手と感じたこと

授業						
勉強	体育	図工	塾との差	教科によってはテスト		
英語の授業で成績順に席を決められた						
学校行事				児童・生徒会		
運動会の組体操の練習				児童会	生徒会	
先生						
小学校の時厳しい担任だったのでちょっと嫌いなことがあった						
先生に理由も聞かれないきなりげんこつをもらってオシッコをちびったこと						
友達						
仲よし三人組から外されたこと			友達とのいさかい			
みんなであだ名をつけた（つけ合った、付けられる）			人間関係			
部活			給食			
部活			給食でどうしても食べれないものがあったて暗くなるまで残された			
			粉ミルク(脱脂粉乳)			

## 報告第 2 号

## コズミックカレッジ（JAXA 協力の科学教室）の実施結果について

## 1 趣旨

子どもたちに宇宙や科学への興味・関心を深めてもらうため、標記科学教室を実施しましたので、その結果について報告するものです。

なお、本科学教室は JAXA 宇宙教育センターの協力を得て実施したものです。

## 2 実施概要

## (1) 内容

ア 宇宙やロケットのお話とクイズ

イ バルーンロケット作り（ロケットをより遠くに飛ばす仕組みを学びます）

## (2) 日時

平成30年9月29日（土） 午前10時から11時半まで  
午後1時半から3時まで

## (3) 会場

松本市教育文化センター 3階 ホール

## (4) 参加者

39名

## (5) 講師

またの あやこ  
俣野 綾子 氏（コズミックカレッジ プログラム講師）

## 3 成果

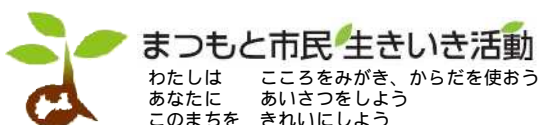
(1) 定員40名のところ、53名の応募がありました（抽選）。

(2) 子ども達は、興味深そうに宇宙の話の聞いたり、ロケットに自分なりの工夫をしたりしていました。

(3) 子ども達だけの班で活動するなかで、声をかけ合ったり手伝いあったりする姿が見られました。

## 4 今後について

子どもたちに宇宙や科学への興味を深めてもらうため、2月に予定している2回目の開催に向けて準備を進めます。



担当

教育政策課 課長 小林 伸一

電話33-3980

教育文化センター 所長 中村 誠

電話32-7600





○：松本  
んだ＝写真。  
○：膨らませたバルーンに尾翼となる台形の厚紙を2〜4枚貼って作製。子どもたちは真剣な表情で先端に紙コップを取り付けて重さを調節したり、曇り花を描いたりして自分だけの機体に仕上げた。  
○：完成後「3、2、1、0」の合図で投げ、機体が真つすぐ飛ぶと歓声が上がった。同市旭町小5年山田暖人君(10)は「上手にできた。いつか本物のロケットで宇宙を見てみたいな」。

平成 30. 9. 30 市民タイムス 1 面

松本市里山辺の市教育文化センターで29日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力による科学教室「コスミックカレッジ」が開かれた。小学生と保護者計40組が参加し、長細い風船に羽根を付けた「バルーンロケット」を作るなどして、宇宙や科学に親しんだ。

教室は午前と午後の2回行われ、コスミックカレッジプログラム講師の俣野綾子さん＝東京都＝が講師を務めた。子供たちは、人工衛星が地上から700〜800キロ離れた軌道を周回していることやロケットが飛ぶ原理をクイズで学んだ。

バルーンロケット作り

では、長さ約1メートルの風船の好きな場所に厚紙の羽根を付けて投げ、どうしたら安定して飛ぶかを体感した。

鎌田小学校1年・神戸明瑠さん(7)は「宇宙の話はまだよく分からないけれど面白そうだった。ロケットもよく飛んで楽しかった」と笑顔を見せた。

全国で年間500回ほど行われる子供向け講座で、教育文化センターでは初めて開かれた。JAXA宇宙教育センターの長尾美穂主任は「宇宙に限らず子供たちが何かに夢中になるきっかけになれば」と願った。

(小岩井貴之)

# 宇宙や科学 親子で探究

松本コスミックカレッジ



風船に羽根を付けた手作りロケットを投げて飛ばす子供たち

## 子育て家庭実態調査の実施結果について

## 1 趣旨

「子どもの貧困対策」に係る施策推進に向けた基礎資料とするため、平成29年度に本市が独自に実施した標記調査（以下「市調査」という。）の結果について、同時期に県が実施した長野県子どもと子育て家庭の実態調査（以下「県調査」という。）の松本市抽出分の分析とあわせて報告するものです。

## 2 市調査概要（資料1）

- (1) 期 間 平成29年11月16日から12月8日まで
- (2) 対象世帯 小5、中2の子どもの保護者 各500世帯
- (3) 実施方法 住民基本台帳から対象世帯を無作為抽出し、郵送により調査票を配布・回収
- (4) 回答状況 513世帯（回収率51.3%）
- (5) 内 容 世帯類型別の所得、就労状況、子どもの学習や食事に関するニーズなど19項目（平成28年度実施の「松本市ひとり親家庭実態調査」（以下「ひとり親家庭実態調査」という。）と同様内容）
- (6) 分析方法 世帯年収が400万円以上のグループ（Aグループ）と400万円未満のグループ（Bグループ）に分け比較分析

## 3 市調査分析

両グループを比較すると、Bグループの方が無料の塾や子ども食堂といった、具体的な支援に対するニーズが高い傾向があるとともに、子育てに不安を感じたときの相談に対する抵抗感が高いことがわかりました。

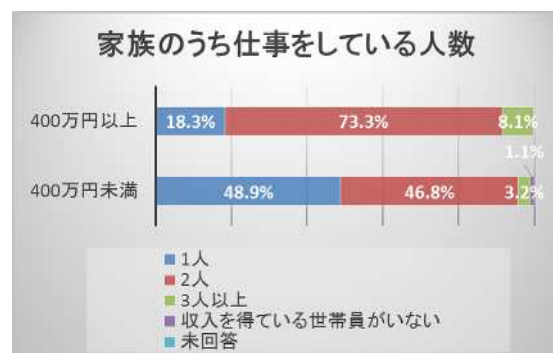
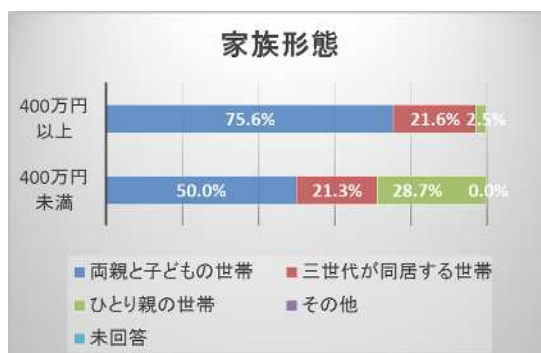
このことは、平成28年度に実施した「ひとり親家庭実態調査」でも同様の傾向がありましたが、今回の調査では、より顕著な差が見られました。

また、子育て支援や学習支援等に対する要望では、A、Bグループとも制度資金や奨学金など教育資金の拡充を希望する回答が一番多い結果となりました。

## 4 市調査結果（抜粋）

## (1) 家族形態及び、家族のうち仕事をしている人数について

Aグループの75.6%が「両親と子どもの世帯」で、73.3%が家族のうち「2人」が仕事をしていると回答しています。このことから、Aグループの過半数は「共働きの核家族」であると予想されます。また、Bグループの約3割が「ひとり親の世帯」で、「三世代が同居する世帯」は、双方のグループでほぼ同じ割合となっています。



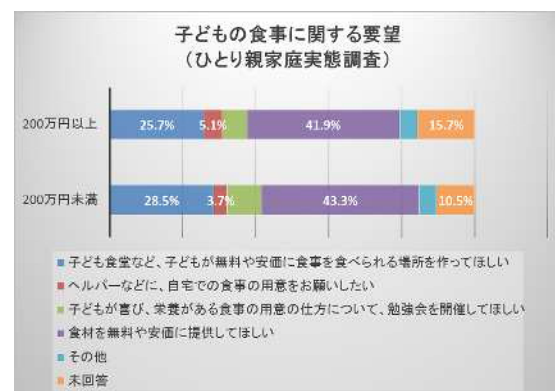
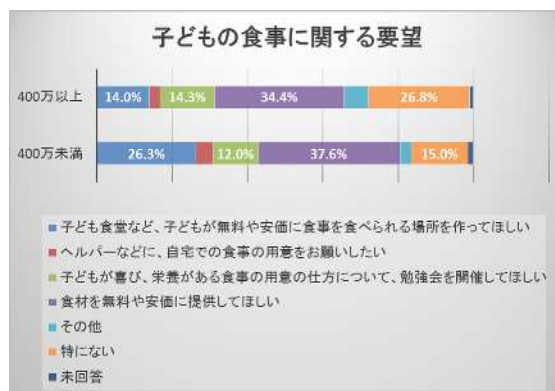
(2) 子育て支援、学習支援等に対する要望について

A、Bグループの回答を比較すると、双方のグループで制度資金や奨学金の拡充を希望する回答が最も多い一方、Aグループでは「塾費用の補助」の回答割合が6.3ポイント高く、Bグループでは「家では勉強を教えられないので、無料や安価な学習塾をつくってほしい」との回答が8.7ポイント高い結果となりました。Bグループでは具体的な学習支援に対するニーズが高い傾向があることがわかりました。



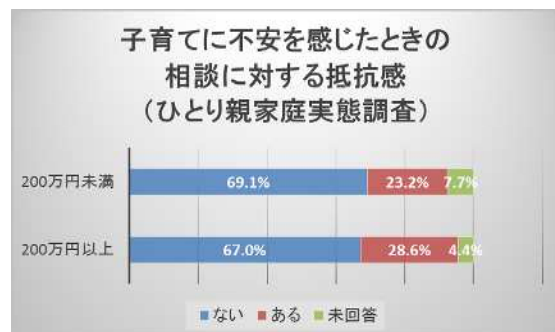
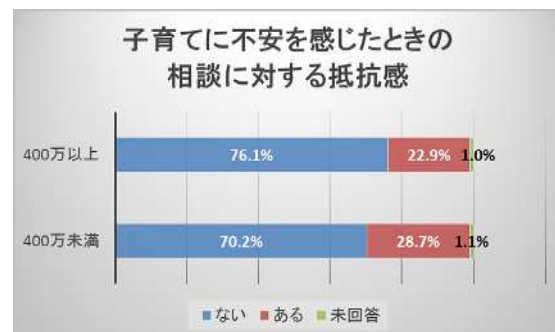
(3) 子どもの食事に関する要望について

A、Bグループの回答を比較すると、Aグループでは「特にない」の回答割合が11.3ポイント高く、Bグループでは「子どもが無料や安価に食事を食べられる場所」の回答割合が12.3ポイント高い結果となりました。Bグループでは子ども食堂等に対するニーズが高い傾向があることがわかりました。



(4) 子育てに不安を感じたときの相談に対する抵抗感について

双方のグループとも、抵抗感が「ない」とする回答が7割を超えていますが、回答割合を見ると、Bグループで抵抗感が「ある」とした回答が5.8ポイント高く、経済的に苦しい世帯の方が、子育てに関する相談への抵抗を感じている様子があることがわかりました。



## 5 県調査概要（資料2）

- (1) 期 間 平成29年8月10日から9月15日まで
- (2) 対象世帯 小1、小5、中2、16～17歳の子どもとその保護者  
各3,000世帯
- (3) 実施方法 住民基本台帳から対象世帯を無作為抽出し、郵送により調査票を配布・回収
- (4) 回答状況 子ども 2,366世帯（回収率26.3%）  
うち松本市分 304世帯（全県の12.8%）  
保護者 3,589世帯（回収率29.9%）  
うち松本市分 474世帯（全県の13.2%）
- (5) 内 容 世帯の所得や経済的な理由により世帯にないもの、子どもに体験させていること、医療機関を受診できなかったこと、子どもの健康状態など98項目
- (6) 分析方法 「低所得」「家計の逼迫」「子どもの体験や所有物の欠如」の3項目に関する調査で、以下の方法により家庭の状態を3区分に分類

**調査の特徴**

※首都大学東京の阿部彩教授による分類

**次の3要素から調査対象の家庭を「困窮家庭」「周辺家庭」「一般家庭」に分類※して分析した県で初めての調査**

①世帯の可処分所得（右表の所得）

②家計の状況

- ・ 経済的理由による公共料金等の滞納
- ・ 食料・衣類を買えなかった経験が1つ以上

③子どもの経験・所有物

15項目中、経済的理由で欠如する項目が3つ以上（海水浴、家族旅行、習い事、学習塾・通信教育年齢に合った本、自宅で勉強できる場所など）

世帯人員	世帯可処分所得
2人	175万円未満
3人	210万円未満
4人	245万円未満
5人	275万円未満
6人	300万円未満

困窮家庭	2つ以上の要素に該当
周辺家庭	いずれか1つの要素に該当
一般家庭	該当する要素なし

## 6 県調査分析

### (1) 子どもの健康状態

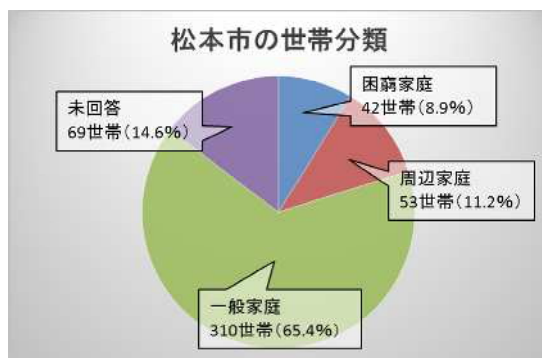
「一般世帯」と比較して、「困窮世帯」のほうが子どもの健康状態が良くないとの回答が多くなっています。「困窮世帯」では、医療機関を受診させなかった理由として、多忙であったとの回答割合が高くなっており、経済的な問題以外にも厳しい様子があることがわかりました。

### (2) 文化に触れる機会

本市では「困窮家庭」や「周辺家庭」においても、3割を超える子どもが文化に触れる体験ができていると回答しています。一方で、金銭的な理由により体験ができていないとの回答は、「一般家庭」ではほとんど無いのに対し、「困窮家庭」では3割から4割の家庭においてありました。

## 7 県調査結果（抜粋）

### (1) 世帯分類状況について（県調査）

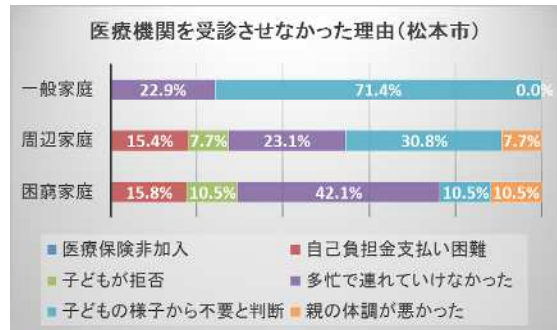
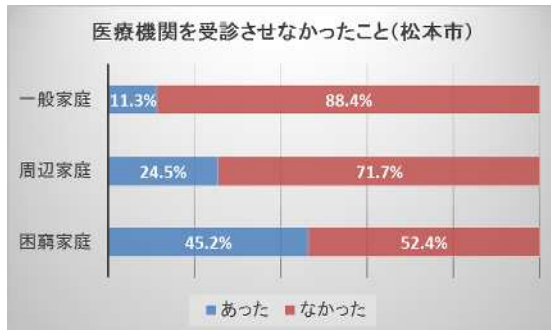
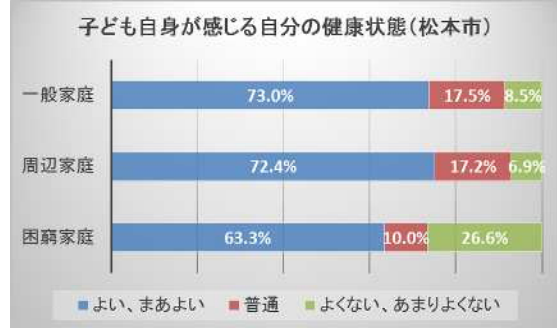
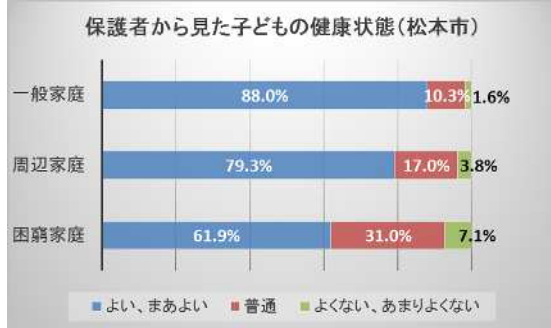


本市の「一般家庭」の割合は65.4%で、全体の約2/3の家庭では子どもにとって困窮した状況は発生していないと回答していますが、8.9%の家庭で2項目以上の困窮が発生しており、11.2%の家庭で何らかの困窮が発生していると回答しています。

(2) 子どもの健康状態、医療機関への受診について（県調査）

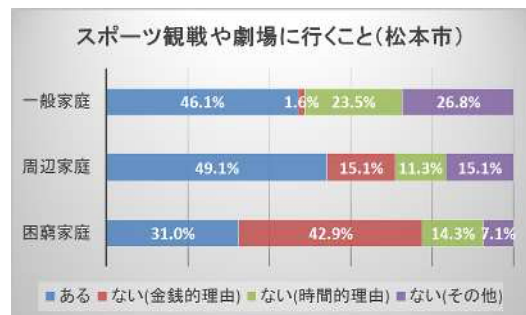
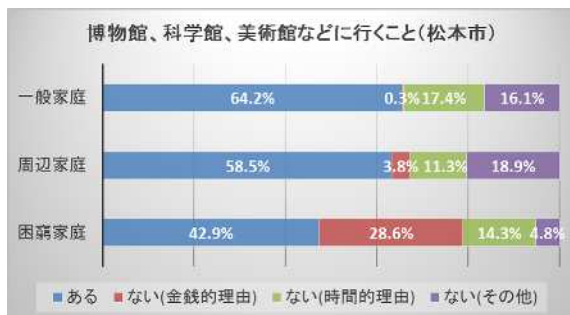
「一般家庭」より「困窮家庭」のほうが親子ともに子どもの健康状態がよくないと感じています。

また、「困窮家庭」のほうが「医療機関を受診させなかったことがある」の回答割合が高く、特徴的な理由として「多忙」「親の体調不良」など、親自身の事情をあげています。



(3) 子どもの体験について（県調査）

いずれの質問も、「一般家庭」と比較して「困窮家庭」の子どもほうが体験ができていませんが、「困窮家庭」であっても、博物館等は約4割、スポーツ観戦等は約3割が体験できています。一方で、金銭的な理由により体験ができていないとの回答は、「一般家庭」ではほとんど無いのに対し、「困窮家庭」では3割から4割の家庭においてありました。



8 今後の予定

調査結果について、第2期松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定の基礎資料とするとともに、松本市子どもの未来応援庁内推進会議で共有、研究を進め、子育て家庭に対する有効な支援施策の充実を図ります。

担当 こども福祉課  
課長 高山 秀一  
電話 33 - 4767



子どもたちに笑顔を、子どもたちから笑顔を、そして子どもたちと笑顔に



- 1 実施時期 平成29年11月16日～12月8日  
 2 調査対象 小学校5年生及び中学校2年生の子どもがいるそれぞれ500世帯を無作為抽出  
 3 実施方法 郵送による配布・回収  
 4 回答状況 513件、対象世帯数1,000世帯 回答率51.3%  
 5 質問内容 質問1から19のとおりに（着色部分は有意差があると思われる回答）

質問1 あなたの現在の年齢はおいくつですか。

		小学校 5年生		中学校 2年生	
		件数	割合	件数	割合
1	20歳未満	2	0.8%	4	1.6%
2	20～29歳	0	0.0%	0	0.0%
3	30～34歳	10	3.8%	2	0.8%
4	35～39歳	54	20.4%	22	8.9%
5	40～44歳	95	35.8%	85	34.3%
6	45～49歳	72	27.2%	78	31.5%
7	50～59歳	30	11.3%	48	19.4%
8	60～64歳	1	0.4%	4	1.6%
9	65歳以上	1	0.4%	3	1.2%
10	未回答	0	0.0%	2	0.8%

質問6 あなたの世帯の平成28年1月1日から12月31日までの1年間の総収入額はいくらですか。  
 （ボーナス等の臨時収入、養育費、児童手当も含まれます。）

		小学校 5年生				中学校 2年生			
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	0～100万円未満	1	0.4%	48	18.1%	0	0.0%	46	18.5%
2	100～130万円未満	3	1.1%			2	0.8%		
3	130～200万円未満	6	2.3%			6	2.4%		
4	200～250万円未満	3	1.1%			7	2.8%		
5	250～300万円未満	11	4.2%			8	3.2%		
6	300～400万円未満	24	9.1%			23	9.3%		
7	400～500万円未満	29	10.9%	199	75.1%	42	16.9%	194	78.2%
8	500～600万円未満	38	14.3%			39	15.7%		
9	600～800万円未満	68	25.7%			52	21.0%		
10	800万円以上	64	24.2%			61	24.6%		
11	未回答	18	6.8%			8	3.2%		

質問2 同居のご家族の状況についてお答えください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	両親と子どもの世帯	26	54.2%	153	76.9%	21	45.7%	144	74.2%
2	三世帯が同居する世帯	8	16.7%	43	21.6%	12	26.1%	42	21.6%
3	ひとり親の世帯	14	29.2%	3	1.5%	13	28.3%	7	3.6%
4	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5	未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%

質問3 ご家族の中でお仕事をされている人数についてお答えください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	1人	26	54.2%	38	19.1%	20	43.5%	34	17.5%
2	2人	21	43.8%	143	71.9%	23	50.0%	145	74.7%
3	3人以上	1	2.1%	17	8.5%	2	4.3%	15	7.7%
4	収入を得ている世帯員がない	0	0.0%	1	0.5%	1	2.2%	0	0.0%
5	未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問4 あなたのお仕事について、次のうちどれがもっともあてはまりますか。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 自営業	7	14.6%	21	10.6%	6	13.0%	21	10.8%
2 正社員	25	52.1%	171	85.9%	28	60.9%	168	86.6%
3 非正規雇用（フルタイム）	7	14.6%	3	1.5%	9	19.6%	3	1.5%
4 非正規雇用（短時間勤務）	9	18.8%	1	0.5%	1	2.2%	0	0.0%
5 内職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 その他	0	0.0%	1	0.5%	1	2.2%	2	1.0%
7 仕事についていない	0	0.0%	1	0.5%	1	2.2%	0	0.0%
8 未回答	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%

質問5 質問4で「仕事についていない」とお答えの方にお聞きします。

仕事についていない理由として、次のうちどれがもっともあてはまりますか。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 休職中	0	0.0%	1	0.5%	1	2.2%	0	0.0%
2 技能、資格等の習得中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 自分の病気等で仕事ができない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 子どもの病気等で仕事ができない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 育児に専念する必要がある	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 子ども以外の介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 質問4の回答が1～6のため回答不要	48	100.0%	198	99.5%	45	97.8%	194	100.0%
9 質問4の回答が7だが、質問5未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問7 ご家族に支給されている手当などについて回答してください。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 児童手当	45	93.8%	186	93.5%	45	97.8%	179	92.3%
2 児童扶養手当	11	22.9%	2	1.0%	11	23.9%	7	3.6%
3 特別児童扶養手当	2	4.2%	2	1.0%	1	2.2%	8	4.1%
4 年金	7	14.6%	31	15.6%	7	15.2%	28	14.4%
5 就学援助	14	29.2%	6	3.0%	10	21.7%	8	4.1%
6 生活保護	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%

質問8 家計の中で、特にお金がかかると感じるものについて、次のうちから2つまで選んでください。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 税金や社会保険料	32	34.0%	109	28.3%	20	21.7%	94	24.9%
2 教育費	17	18.1%	79	20.5%	20	21.7%	97	25.7%
3 食費	18	19.1%	64	16.6%	22	23.9%	56	14.8%
4 住宅関係費（家賃、住宅ローン返）	18	19.1%	107	27.8%	16	17.4%	96	25.4%
5 借入金の返済（住宅ローン以外）	5	5.3%	9	2.3%	6	6.5%	15	4.0%
6 医療、介護費	4	4.3%	10	2.6%	4	4.3%	6	1.6%
7 離れて暮らす子どもへの仕送り	0	0.0%	4	1.0%	3	3.3%	13	3.4%
8 その他	0	0.0%	3	0.8%	1	1.1%	1	0.3%
9 特になし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問9 お子さんについて、家庭での学習の様子をお聞かせください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	毎日定期的に勉強している	18	37.5%	74	37.2%	13	28.3%	55	28.4%
2	ほぼ毎日勉強している	21	43.8%	92	46.2%	15	32.6%	70	36.1%
3	テスト前は勉強する	2	4.2%	8	4.0%	14	30.4%	41	21.1%
4	家ではあまり勉強しないが、塾や図書館、友人宅等で勉強してくる	1	2.1%	7	3.5%	0	0.0%	4	2.1%
5	ほとんど勉強しない	5	10.4%	15	7.5%	4	8.7%	18	9.3%
6	その他	1	2.1%	3	1.5%	0	0.0%	2	1.0%
7	よくわからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.1%
8	未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問10 お子さんの進路について、現在の希望を教えてください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	全日制高校（高専）	7	14.6%	15	7.5%	9	19.6%	50	25.8%
2	定時制・通信制高校	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	2	1.0%
3	専門学校	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	4	2.1%
4	短大、専門学校	4	8.3%	4	2.0%	3	6.5%	11	5.7%
5	大学	16	33.3%	84	42.2%	11	23.9%	61	31.4%
6	大学院	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	3	1.5%
7	中学校卒業後就職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	子どもの希望する学校	13	27.1%	65	32.7%	16	34.8%	44	22.7%
9	子どもの学力等による	6	12.5%	22	11.1%	7	15.2%	17	8.8%
10	その他	1	2.1%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
11	わからない、考えたことがない	1	2.1%	1	0.5%	0	0.0%	2	1.0%
12	未回答	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%

質問11 お子さんの子育て支援、学習支援等に関する行政への要望について、次の中から2つまで選んでください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	放課後の居場所（学童保育等）を充実してほしい	5	5.6%	16	4.7%	3	3.4%	10	3.0%
2	家では勉強する場所がないので、家以外で勉強できる場所を提供してほしい	3	3.4%	12	3.5%	1	1.1%	9	2.7%
3	家では勉強を教えられないので、無料や安価な学習塾をつくってほしい	20	22.5%	59	17.4%	29	32.6%	68	20.3%
4	友達と一緒に今ある学習塾に行かせたいので、塾の費用を補助してほしい	1	1.1%	39	11.5%	8	9.0%	38	11.3%
5	制度資金や奨学金をもっと借りやすいもの、返済不要なものを拡充してほしい	31	34.8%	117	34.4%	30	33.7%	119	35.5%
6	勉強面ばかりでなく、生活全般に使える手当を増額してほしい	25	28.1%	67	19.7%	17	19.1%	63	18.8%
7	その他	2	2.2%	12	3.5%	0	0.0%	13	3.9%
8	特になし	1	1.1%	14	4.1%	1	1.1%	14	4.2%
9	未回答	1	1.1%	4	1.2%	0	0.0%	1	0.3%



質問12 お子さんの朝食について、もっともあてはまるものを選んでください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	ほぼ毎日食べている	45	93.8%	194	97.5%	43	93.5%	184	94.8%
2	週に4~5日は食べている	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	2	1.0%
3	週に1~3日は食べている	2	4.2%	2	1.0%	2	4.3%	6	3.1%
4	ほとんど食べていない	1	2.1%	1	0.5%	1	2.2%	2	1.0%
5	未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問13 お子さんの食事全般について、もっともあてはまるものを選んでください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	十分に食事がとれている	37	77.1%	183	92.0%	37	80.4%	180	92.8%
2	食事を食べたがらない、食べない	1	2.1%	5	2.5%	1	2.2%	4	2.1%
3	忙しくて食事の用意ができないことがある	3	6.3%	8	4.0%	2	4.3%	5	2.6%
4	体調が悪くて食事の用意ができないことがある	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%
5	給料日前など、食材が足りないことがある	5	10.4%	3	1.5%	4	8.7%	3	1.5%
6	その他	2	4.2%	0	0.0%	1	2.2%	2	1.0%
7	未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問14 お子さんの食事に関する行政への要望について、次の中から2つまでを選んでください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	子ども食堂など、子どもが無料や安価に食事を食べられる場所を作してほしい	15	22.7%	35	13.1%	20	29.9%	38	14.8%
2	ヘルパーなどに、自宅での食事の用意をお願いしたい	1	1.5%	8	3.0%	5	7.5%	7	2.7%
3	子どもが喜び、栄養がある食事の用意の仕方について、勉強会を開催してほしい	9	13.6%	40	15.0%	7	10.4%	35	13.7%
4	食材を無料や安価に提供してほしい	26	39.4%	91	34.1%	24	35.8%	89	34.8%
5	その他	4	6.1%	20	7.5%	0	0.0%	14	5.5%
6	特にない	9	13.6%	68	25.5%	11	16.4%	72	28.1%
7	未回答	2	3.0%	5	1.9%	0	0.0%	1	0.4%

質問15 あなたが15歳の頃、あなたの家庭の暮らし向きについて、もっとも近いと思われるものを選んでください。

		小学校5年生				中学校2年生			
		400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1	大変余裕があった	3	6.3%	13	6.5%	2	4.3%	15	7.7%
2	やや余裕があった	10	20.8%	42	21.1%	4	8.7%	34	17.5%
3	普通	25	52.1%	100	50.3%	30	65.2%	118	60.8%
4	やや苦しかった	10	20.8%	39	19.6%	9	19.6%	25	12.9%
5	大変苦しかった	0	0.0%	2	1.0%	1	2.2%	2	1.0%
6	未回答	0	0.0%	3	1.5%	0	0.0%	0	0.0%

質問16 あなたが15歳の頃の暮らし向きが、今の生活に影響していると思いますか。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 とても影響している	6	12.5%	28	14.1%	7	15.2%	25	12.9%
2 やや影響している	11	22.9%	73	36.7%	16	34.8%	65	33.5%
3 あまり影響していない	11	22.9%	36	18.1%	9	19.6%	53	27.3%
4 影響していない	11	22.9%	33	16.6%	9	19.6%	31	16.0%
5 わからない	9	18.8%	27	13.6%	4	8.7%	20	10.3%
6 未回答	0	0.0%	2	1.0%	1	2.2%	0	0.0%

質問17 現在、特に心配なことについて、次の中から2つまで選んでください。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 収入が少ない、不安定	27	29.0%	24	6.6%	15	17.0%	24	6.8%
2 税金や保険料の負担が大きい	21	22.6%	95	26.0%	13	14.8%	88	24.9%
3 希望どおりの（勤務内容、時間等） 仕事ができない、仕事に就けない	3	3.2%	10	2.7%	5	5.7%	9	2.5%
4 子どもの教育費	21	22.6%	103	28.2%	25	28.4%	121	34.2%
5 子どもの預け先（保育園、児童セン ター等）	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
6 福祉制度の不足、不公平感	1	1.1%	9	2.5%	2	2.3%	10	2.8%
7 住居	0	0.0%	6	1.6%	5	5.7%	3	0.8%
8 家族（親、兄弟、子どもなど）との 関係	3	3.2%	14	3.8%	6	6.8%	11	3.1%
9 子どもの健康	5	5.4%	15	4.1%	3	3.4%	15	4.2%
10 自分の健康	7	7.5%	19	5.2%	5	5.7%	13	3.7%
11 自分の老後	4	4.3%	52	14.2%	8	9.1%	48	13.6%
12 特になし	1	1.1%	14	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
13 未回答	0	0.0%	3	0.8%	1	1.1%	12	3.4%

質問18 子育てに不安を感じたとき、相談できる人（行政相談窓口も含みます）がいますか。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 いる	36	75.0%	156	78.4%	30	65.2%	154	79.4%
2 いない	11	22.9%	41	20.6%	15	32.6%	39	20.1%
3 未回答	1	2.1%	2	1.0%	1	2.2%	1	0.5%

質問19 子育てに不安を感じたとき、相談することに抵抗がありますか。

	小学校5年生				中学校2年生			
	400万未満		400万以上		400万未満		400万以上	
1 ない	32	66.7%	148	74.4%	34	73.9%	151	77.8%
2 ある	15	31.3%	48	24.1%	12	26.1%	42	21.6%
3 未回答	1	2.1%	3	1.5%	0	0.0%	1	0.5%

1 調査概要

- (1) 実施時期 平成29年8月10日～8月31日
- (2) 調査対象 長野県内50市町村に在住の小学1、5年、中学2年、16～17歳の子ども及びその保護者 12,000世帯（小学1年生の児童に関する質問は保護者が回答）
- (3) 実施方法 郵送による配布・回収
- (4) 回答状況 全 県 子ども本人 2,371人 保護者 3,589人  
松本市 子ども本人 302人 保護者 474人
- (5) 質問数 98問（着色部分は有意差があると思われる回答）

2 生活困窮度の取扱いについて

- (1) 分類方法 回答内容の3つの要素について注目し、分類を実施

**調査の特徴**

※首都大学東京の岡部彩教授による分類

**次の3要素から調査対象の家庭を「困窮家庭」「周辺家庭」「一般家庭」に分類※して分析した県で初めての調査**

①世帯の可処分所得（右表の所得）

世帯人員	世帯可処分所得
2人	175万円未満
3人	210万円未満
4人	245万円未満
5人	275万円未満
6人	300万円未満

②家計の逼迫  
・ 経済的理由による公共料金等の滞納  
・ 食料・衣類を買えなかった経験が1つ以上

③子どもの経験・所有物  
15項目中、経済的理由で欠如する項目が3つ以上（海水浴、家族旅行、習い事、学習塾・通信教育年齢に合った本、自宅で勉強できる場所など）

家庭タイプ	分類基準
困窮家庭	2つ以上の要素に該当
周辺家庭	いずれか1つの要素に該当
一般家庭	該当する要素なし

(2) 要素項目

ア 低所得

世帯の可処分所得と世帯人数から、一定の所得未満と判断される世帯

イ 家計の逼迫

電話、電気代、ガス、水道の公共料金支払い、家賃、食料、衣類の購入に際し、経済的な理由で払えなかった、購入できなかったことがあった世帯

ウ 子どもの体験や所有物の欠如

子どもの体験や所有物など15項目のうち、経済的な理由で体験していない、金銭的な理由で欠如しているとする項目が3つ以上ある世帯

(3) 分類方法

上記の3つの要素のうち、2つ以上に該当 = 「困窮家庭」、1つに該当 = 「周辺家庭」、該当要素なし = 「一般家庭」とする。

3 調査結果について（抜粋）

家庭分類状況（保護者回答）

	困窮家庭	周辺家庭	一般家庭	所得等未回答
全県	9.3%	15.2%	59.9%	15.6%
	334世帯	546世帯	2,149世帯	560世帯
松本市	8.9%	11.2%	65.4%	14.6%
	42世帯	53世帯	310世帯	69世帯

世帯全体の年収（単位：万円）（保護者回答）

	120未満	120～175未満	175～210未満	210～245未満	245～275未満	275～300未満	300～325未満
全県	2.0%	2.3%	1.7%	2.3%	2.8%	2.6%	3.4%
松本市	0.6%	2.5%	1.7%	2.1%	1.9%	2.5%	3.6%
	325～345未満	345～365未満	365～385未満	385～400未満	400～550未満	550～700未満	700以上
全県	2.2%	2.3%	2.2%	5.7%	20.0%	16.8%	15.0%
松本市	2.1%	2.1%	2.5%	4.9%	17.7%	19.2%	19.8%

母親の就労状況について専業主婦との割合（保護者回答）

		専業主婦	全体平均
全県	困窮家庭	10.8%	14.9%
	周辺家庭	12.8%	
	一般家庭	15.1%	
松本市	困窮家庭	9.5%	17.5%
	周辺家庭	9.4%	
	一般家庭	17.7%	

お金が足りなくて食料が買えなかったこと（保護者回答）

		よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
全県	困窮家庭	14.1%	31.7%	29.9%	23.4%
		45.8%		53.3%	
	周辺家庭	4.0%	10.4%	21.2%	62.5%
		14.4%		83.7%	
	一般家庭	0.0%	0.0%	5.7%	93.5%
		0.0%		99.2%	
松本市	困窮家庭	14.3%	23.8%	40.5%	19.0%
		38.1%		59.5%	
	周辺家庭	5.7%	11.3%	13.2%	66.0%
		17.0%		79.2%	
	一般家庭	0.0%	0.0%	5.6%	94.4%
		0.0%		100.0%	

経済的理由のため世帯（自宅）にないもの（保護者回答）

	子どもの年齢にあった本	宿題をできる場所	インターネット環境	新聞購読	臨時支出のための貯金(5万円以上)	冷房機器	あてはまるものはない
全県	3.5%	4.1%	9.1%	11.9%	13.0%	4.8%	58.4%
松本市	2.1%	5.1%	9.9%	10.8%	13.9%	4.6%	56.5%

家賃（または住宅ローン）が払えなかったこと（保護者回答）

		あった	なかった	払う必要がない
全県	困窮家庭	24.9%	58.7%	13.8%
	周辺家庭	6.0%	77.1%	15.6%
	一般家庭	0.0%	84.2%	14.6%
松本市	困窮家庭	28.6%	61.9%	9.5%
	周辺家庭	7.5%	77.4%	15.1%
	一般家庭	0.0%	85.8%	13.5%

現在住んでいる住居の形態（保護者回答）

	持家	民間アパート等	公営住宅	社宅等	間借り等
全県	81.6%	10.8%	3.3%	2.0%	2.0%
松本市	77.6%	13.9%	3.4%	3.2%	1.7%

博物館、科学館、美術館などに行くこと（保護者回答）

		ある	ない(金銭的理由)	ない(時間的理由)	ない(その他)
全県	困窮家庭	32.0%	32.6%	17.1%	15.9%
	周辺家庭	45.4%	8.4%	22.3%	20.1%
	一般家庭	65.1%	0.5%	17.5%	14.9%
松本市	困窮家庭	42.9%	28.6%	14.3%	4.8%
	周辺家庭	58.5%	3.8%	11.3%	18.9%
	一般家庭	64.2%	0.3%	17.4%	16.1%

スポーツ観戦や劇場に行くこと（保護者回答）

		ある	ない(金銭的理由)	ない(時間的理由)	ない(その他)
全県	困窮家庭	21.3%	43.1%	16.8%	16.2%
	周辺家庭	36.8%	14.7%	20.5%	24.0%
	一般家庭	47.8%	2.3%	21.6%	25.8%
松本市	困窮家庭	31.0%	42.9%	14.3%	7.1%
	周辺家庭	49.1%	15.1%	11.3%	15.1%
	一般家庭	46.1%	1.6%	23.5%	26.8%

平日の朝食頻度（保護者、子ども回答）

		毎日食べる	食べる日が多い	食べない日が多い	いつも食べない
全県	困窮家庭	83.1%	6.8%	4.9%	3.4%
	周辺家庭	88.1%	6.1%	1.9%	1.1%
	一般家庭	93.5%	2.9%	1%未満	1%未満
松本市	困窮家庭	80.0%	2.5%	7.5%	10.0%
	周辺家庭	92.3%	1.9%	1%未満	1.9%
	一般家庭	92.4%	3.6%	1%未満	1.0%

子ども自身が感じる自分の健康状態（子ども回答）

		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない
全県	困窮家庭	28.8%	26.2%	26.6%	14.4%	1.7%
		55.0%			16.1%	
	周辺家庭	33.3%	28.4%	28.4%	7.2%	0.9%
		61.7%			8.1%	
	一般家庭	41.0%	29.8%	21.6%	5.6%	1.3%
		70.8%			6.9%	
松本市	困窮家庭	40.0%	23.3%	10.0%	23.3%	3.3%
		63.3%			26.6%	
	周辺家庭	34.5%	37.9%	17.2%	6.9%	0.0%
		72.4%			6.9%	
	一般家庭	39.0%	34.0%	17.5%	6.5%	2.0%
		73.0%			8.5%	

保護者から見た子どもの健康状態（保護者回答）

		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない
全県	困窮家庭	52.7%	17.1%	23.7%	5.1%	1.2%
		69.8%			6.3%	
	周辺家庭	60.1%	17.9%	18.3%	2.2%	0.0%
		78.0%			2.2%	
	一般家庭	67.7%	16.0%	14.6%	1.0%	0.0%
		83.7%			1.0%	
松本市	困窮家庭	50.0%	11.9%	31.0%	7.1%	0.0%
		61.9%			7.1%	
	周辺家庭	60.4%	18.9%	17.0%	3.8%	0.0%
		79.3%			3.8%	
	一般家庭	74.5%	13.5%	10.3%	1.6%	0.0%
		88.0%			1.6%	

医療機関を受診させなかったこと（保護者回答）

		あった	なかった
全県	困窮家庭	36.2%	62.6%
	周辺家庭	18.1%	80.2%
	一般家庭	12.8%	86.7%
松本市	困窮家庭	45.2%	52.4%
	周辺家庭	24.5%	71.7%
	一般家庭	11.3%	88.4%

医療機関を受診させなかった理由（保護者回答）

		医療保険 非加入	自己負担金 支払い困難	子どもが 拒否	多忙で連れて いけなかった	子どもの様子 で不要と判断	親の体調が 悪かった
全県	困窮家庭	1.7%	19.0%	6.6%	33.9%	28.9%	3.3%
	周辺家庭	0.0%	4.0%	13.1%	29.3%	45.5%	1.0%
	一般家庭	0.0%	0.0%	7.3%	24.4%	64.4%	0.0%
松本市	困窮家庭	0.0%	15.8%	10.5%	42.1%	10.5%	10.5%
	周辺家庭	0.0%	15.4%	7.7%	23.1%	30.8%	7.7%
	一般家庭	0.0%	0.0%	0.0%	22.9%	71.4%	0.0%

インフルエンザの予防接種を受けなかった理由（保護者回答）

		費用が かかるため	必要性を 感じない	多忙で 時間がない	副反応が 心配	子どもの様子 から不要と判断
全県	困窮家庭	68.8%	31.3%	14.3%	18.8%	17.0%
	周辺家庭	61.0%	37.7%	11.6%	19.9%	17.1%
	一般家庭	40.6%	51.3%	12.2%	14.0%	27.2%
松本市	困窮家庭	66.7%	33.3%	13.3%	6.7%	13.3%
	周辺家庭	61.5%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%
	一般家庭	37.0%	57.5%	9.6%	9.6%	9.6%

授業以外の勉強時間（子ども回答）

		全くしない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上
全県	困窮家庭	11.4%	19.2%	24.9%	29.7%	7.9%	4.4%
	周辺家庭	10.9%	12.6%	25.6%	34.8%	11.2%	3.4%
	一般家庭	5.3%	11.3%	28.5%	37.0%	13.3%	3.9%
松本市	困窮家庭	6.7%	20.0%	36.7%	26.7%	6.7%	3.3%
	周辺家庭	6.9%	3.4%	27.6%	48.3%	13.8%	0.0%
	一般家庭	5.5%	11.5%	28.5%	37.5%	14.0%	2.5%

学校に行きたくないと思ったことがある（小5・中2子ども回答）

		よくあった	時々あった	あまり なかった	なかった	わからない
全県	困窮家庭	24.2%	27.9%	17.6%	24.8%	3.6%
	周辺家庭	16.9%	21.3%	25.3%	28.9%	6.0%
	一般家庭	8.9%	23.6%	27.0%	36.9%	2.8%
松本市	困窮家庭	22.7%	27.3%	18.2%	22.7%	4.5%
	周辺家庭	9.5%	19.0%	33.3%	23.8%	9.5%
	一般家庭	14.9%	26.6%	23.4%	30.5%	3.2%

学校生活は楽しい(楽しかった)(子ども回答)

		楽しい (楽しかった)	楽しくない (楽しくなかった)	どちらとも いえない
全県	困窮家庭	77.8%	14.5%	4.0%
	周辺家庭	82.6%	8.2%	5.7%
	一般家庭	87.7%	6.7%	3.7%
松本市	困窮家庭	73.3%	13.3%	10.0%
	周辺家庭	89.7%	6.9%	3.4%
	一般家庭	83.5%	8.5%	7.0%

学校の授業がわかる(子ども回答)

		いつもわかる	だいたい わかる	わからない ことが多い	ほとんど わからない
全県	困窮家庭	14.4%	63.3%	15.3%	4.4%
	周辺家庭	26.1%	61.2%	9.5%	1.4%
	一般家庭	27.2%	63.8%	7.4%	1%未満
松本市	困窮家庭	6.7%	70.0%	16.7%	6.7%
	周辺家庭	20.7%	58.6%	20.7%	0.0%
	一般家庭	29.5%	60.0%	8.5%	1.0%

自分は価値のある人間だと思う(子ども回答)

		とても思う	思う	あまり 思わない	思わない
全県	困窮家庭	10.0%	36.7%	35.8%	13.5%
		46.7%		49.3%	
	周辺家庭	17.2%	40.8%	32.8%	7.5%
		58.0%		40.3%	
	一般家庭	19.5%	43.3%	29.0%	6.6%
		62.8%		35.6%	
松本市	困窮家庭	6.7%	33.3%	43.3%	13.3%
		40.0%		56.6%	
	周辺家庭	13.8%	44.8%	31.0%	6.9%
		58.6%		37.9%	
	一般家庭	21.0%	41.5%	28.0%	8.5%
		62.5%		36.5%	

自分のことが好きだ(子ども回答)

		とても思う	思う	あまり 思わない	思わない
全県	困窮家庭	10.5%	32.8%	32.3%	21.0%
		43.3%		53.3%	
	周辺家庭	20.1%	32.8%	28.4%	16.4%
		52.9%		44.8%	
	一般家庭	20.6%	35.3%	29.6%	13.1%
		55.9%		42.7%	
松本市	困窮家庭	10.0%	30.0%	30.0%	26.7%
		40.0%		56.7%	
	周辺家庭	17.2%	34.5%	31.0%	13.8%
		51.7%		44.8%	
	一般家庭	26.5%	29.0%	28.5%	14.5%
		55.5%		43.0%	

## 周知事項 1

### 教育文化センタープラネタリウムのリニューアル工事に伴う休館について

#### 1 趣旨

教育文化センタープラネタリウムを最新の統合型プラネタリウムへリニューアルする工事に伴い、休館することについて周知するものです。

#### 2 休館期間

平成30年12月17日(月)から平成31年4月末まで

#### 3 工事内容

- (1) プラネタリウム投影機器の更新に係る工事
- (2) 座席の更新工事
- (3) 床の張替え工事

#### 4 周知方法

- (1) 広報まつもとへの掲載
- (2) 松本市公式ホームページへの掲載
- (3) 教育文化センター館内でのポスター掲示

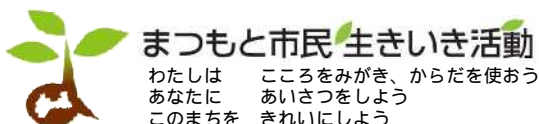
#### 担当

教育政策課 課長 小林 伸一

電話33-3980

教育文化センター 所長 中村 誠

電話32-7600





## 周知事項 2

## 宇宙関連事業 講演会の開催について

## 1 趣旨

小中学生をはじめ、市民が宇宙をより身近に感じ、興味・関心を高めてもらうため、標記講演会を開催することについて周知するものです。

## 2 開催概要

## (1) 講演会

## 演題

「影絵を使った天体観測 ～人はなぜ宇宙を研究するのか～」

- ア 日時 平成30年12月1日(土)  
13時20分から14時55分まで
- イ 会場 教育文化センター 視聴覚ホール
- ウ 講師 三澤 透氏(信州大学 全学教育機構 准教授)
- エ 対象 小学校高学年から成人
- オ 入場料 無料
- カ 定員 先着160人(事前の申込みが必要)
- キ 申込方法 インターネットまたは電話で申込み

## 2 周知方法

- (1) 広報まつもと、市公式ホームページへの掲載
- (2) 小中学校及び公民館等施設へのポスター、チラシ配布
- (3) 報道機関への周知

## 担当

教育政策課 課長 小林 伸一

電話33-3980

教育文化センター 所長 中村 誠

電話32-7600



まつもと市民 生きいき活動

わたしは ころをみがき、からだを使おう  
あなたに あいさつをしよう  
このまちを きれいにしよう

# わくわくすることは 自分の大切なものにつ ながっていた

開催日時: [平成30年]

12月1日☆

～影絵を使った天体観測～

わくわくの先に  
待っていた  
研究者への道

★講師

三澤透  
先生

## 松本市教育文化センター 宇宙関連事業講演会

開場 12:50

講演 13:20～14:55

定員 160名(先着)

会場 松本市教育文化センター  
視聴覚ホール 3F

★プロフィール  
三澤透 (みさわ・とおる)

信州大学全学教育機構准教授。博士(理学)。長野市生まれ。おもにキューサー吸収線を用いた銀河、銀河間物質、活動銀河中心核の研究。松本市新科学館基本構想策定委員会委員長

2003年 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了。同年 国立天文台教務補佐員、2003～2008年 米国ペンシルベニア州立大学博士研究員、2008～2010年 理化学研究所基礎科学特別研究員、2010年 信州大学全学教育機構専任講師を経て、2013年より現職。研究分野は観測天文学。

★ お問い合わせ／申し込み先

★ 申し込み期間: 10月30日(火)～11月29日(木)

★ 申し込み方法: [インターネット] または [電話] ☎32-7600 まで (定員に達し次第締め切らせていただきます。)  
★ インターネットご利用の方は松本市教育文化センターホームページ内の専用リンク先からお申込みください。

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺2930-1 ☎32-7600 ※休館日は月曜日(祝日の場合は、翌日)

主催: 松本市教育委員会

## 周知事項 3

## 松本市立博物館分館の企画展開催について

## 1 趣旨

松本市立博物館分館で下記のとおり企画展を開催することについて周知するものです。

## 2 開催内容

## (1) 松本市はかり資料館 企画展「今昔はかり展」

## ア 内容

江戸時代に東国（とうごく）の秤（はかり）に関する権利を掌握していた守随家（しゅずいけ）が作成した棹秤（さおばかり）、錘（おもり）をとりあげます。江戸時代から明治時代の棹秤、錘の見どころを紹介します。

## イ 期間

平成30年10月26日（金）から11月25日（日）まで

## ウ 会場

松本市はかり資料館 第1展示室

## エ 観覧料

大人200円 中学生以下は無料（通常観覧料）

## オ 展示資料

守随家が製作した棹秤、錘 4点

## カ 関連事業

11月1日の計量記念日に近接し、松本市民祭で中町商店街が歩行者天国となる11月3日（土・祝）は無料開館とし、はかり資料館売店で販売している商品の中からオリジナルバック、松本てまり、絵はがきなどを路上販売します。

担当 博物館

館長 木下 守

電話 32 - 0133



学都松本へ  
松本は屋根のない博物館！松本の歩みと文化を知る。  
松本の今にふれ、未来を思う。  
まるごと松本を知る旅のスタート地点です。



「学都松本」

教育委員会資料
30.10.24
博物館

周知事項 4

歴史の里ナイトミュージアムの開催について

1 趣旨

新たな博物館利用者の掘り起こしを目指し、昨年度に引続き開館時間を2時間延長し、ナイトミュージアムを開催するものです。

2 経緯

29.11.29 旧松本区裁判所庁舎の重要文化財指定  
12.9~10 ナイトミュージアムの開催

3 事業内容

(1) 事業概要

開館時間を2時間延長し、博物館の利用の拡大を図るものです。

(2) 日時

平成30年11月3日(土)・4日(日) 17時~19時  
最終入館は18時30分

(3) その他

昨年度、一定の効果が見られたものの、アンケート結果の「寒い」という感想を踏まえ、今年度は1カ月早めて実施し、効果を検証します。

4 周知方法

- (1) あなたと博物館 11月1日号
- (2) まるごと博物館ホームページ
- (3) 松本市公式ホームページ
- (4) プレスリリース

担当	博物館
館長	木下 守
電話	32-0133



学都松本へ  
松本は屋根のない博物館！松本の歩みと文化を知る。  
松本の今にふれ、未来を思う。  
まるごと松本を知る旅のスタート地点です。



「学都松本」

## 周知事項 5

第35回松本市青少年健全育成市民大会・  
「松本子どもの権利の日」市民フォーラムの開催について

## 1 趣旨

松本市子どもの権利に関する条例において、11月20日を「松本子どもの権利の日」と定めているほか、長野県では、11月を「子ども若者育成支援強調月間」と位置付けていることから、「青少年は、地域社会からはぐくむ」という観点に立ち、全市をあげて青少年健全育成活動の一層の推進を図ることを目的に、標記大会を開催することについて周知するものです。

## 2 期日

平成30年11月25日(日) 13時30分から15時45分まで

## 3 会場

勤労者福祉センター(松本市中央4-6-26)

## 4 主催

松本市 / 松本市教育委員会 / 松本市青少年健全育成市民大会実行委員会

## 5 内容

## (1) オープニングセレモニー

本郷若獅子太鼓による太鼓演奏

## (2) 開会式・表彰式

松本市青少年健全育成市民大会表彰(松本市青少年健全育成市民大会表彰規準に基づき、個人及び団体を表彰予定)

## (3) 子どもの発表

ア エクセラン高校福祉科生徒による活動紹介

イ まつもと子ども未来委員会による市長提言

## (4) 大会宣言

担当 こども育成課

課長 青木 直美

34-3291



子どもたちに笑顔を、子どもたちから笑顔を、そして子どもたちと笑顔に



# 第35回松本市青少年健全育成市民大会・ 「松本子どもの権利の日」市民フォーラム

- 青少年の声を聴き、夢と挑戦を支えよう
- 子どもの権利を実現し、子どもの生きる力を高めよう



2018年

**11**月**25**日(日)

13:30 ▶ 15:45

松本市勤労者福祉センター  
大会議室

- オープニングセレモニー  
本郷若獅子太鼓
- 活動紹介  
エクセラン高校
- 市長提言  
まつもと子ども未来委員会



図案作成：まつもと子ども未来委員会 井篁 莉乃

主催 松本市／松本市教育委員会

後援 長野県将来世代応援県民会議(申請中)



11月は長野県が推進する「子ども若者育成支援強調月間」であり、「松本市子どもの権利に関する条例」では、11月20日を「松本子どもの権利の日」と定めています。

「青少年は、地域社会からはぐくむ」という観点に立ち、明るく温かい社会環境を作るため、この機会に、子どもたちの活動に目を向け、全市をあげて青少年健全育成活動の推進を図りましょう。



- 日時  
平成30年度11月25日（日）13：30～15：45
- 会場  
松本市勤労者福祉センター（松本市中央4-7-26）
- 内容  
13：30 オープニングセレモニー 本郷若獅子太鼓  
13：50 開会式・表彰式  
14：20 子どもの発表① 活動紹介 エクセラン高校  
～休憩～  
14：50 子どもの発表② 市長提言 まつもと子ども未来委員会  
15：35 大会宣言・閉会式



- ※ 入場無料、事前申込みは不要です。
- ※ **駐車場には限りがございます。**公共交通機関をご利用いただくか、徒歩・自転車等でお越しく下さい。

○ お問い合わせ  
松本市丸の内3-7 松本市役所こども育成課  
TEL：0263-34-3291 FAX：0263-34-3309  
E-mail：kodomo-i@city.matsumoto.lg.jp